昭和23年3月24日第三種郵便物認可
昭和29年5月28日日本国有鉄道特別扱承認雑誌2816号

縣民の友

発行所
和歌山市小松原通一丁目
和歌山県企画広報課
編集印刷
発行人　梅北旭
毎月一回一日印刷発行
定価　一部2円50銭

新生活の建設運動
◇冠婚葬祭の改善
◇貯蓄の励行
◇衣食住の工夫と改善
◇保健衛生の向上
◇たすけ合いの実践

新春の新生活運動下

知事　小野眞次

県民の皆さん、あけましておめでとうございます。

今年は終戦後ちょうど十年目に当りますが、当時の社会状勢や世相を顧みまして、全く今昔の感がいたします。今、静かに過ぎ去った星霜を回顧しながらこの意義深い年を迎えて、ひとしお新たなる決意を固くする次第でございます。

昨年は、未だあの大水害の惨状の中にあって、復旧に対する悲壮ともいうべき決意で迎えた新年でしたが、百万県民の皆さんの強固な団結と、旺盛な実践力によって、一カ年を経過した今日、かくもめざましい復旧の足跡をのこすことができ、さらに単なる災害復旧に止まらず、積極的に住みよい郷土の建設へ力強い努力が続けられていますことは、まことに喜ばしい限りで心から感謝している次第でございます。

しかしながら国家財政の影響をうけて、地方財政の頓状はますます悪化の一途をたどっていますので、災害復旧の困難はいよいよこれからであり、その試練は本年にあると思うのであります。また国内外の情勢はきわめて複雑、かつ深刻な立場におかれていることなどを合わせ考えますとき、実に容易ならぬときであり、空前の危機に立ち至っているかの感がいたします。この危機の年頭に処して、私たちはいたずらに悲壮感にのみおぼれることなく、よく逆境にたえてたゆまぬ努力を払い、最善の道を選ばなければなりません。もちろん、それは甚だ困難なことではありましょうが、常に明るい希望をいだいて、建設的積極的な心構えをもつならば、この苦境を切り拓く何らかの解決策が生れるであろうことを確信するものでございます。

ただいま県民の皆さんの御賛同と御鞭撻をいただいて、全県下に実践をお願いしている「新生活の建設運動」も、実にこのような経済の危機を打開して、皆さんにそれぞれの生活を自主的に、厳明に守っていただくための一方策でありまして、私たちに直接身近な問題から着手し、日常生活の面に検討を加えて、無駄や無意味なこと、不合理な点を改善し、あるいは是正していこうとするものであります。つまり県民一人一人の自覚と実践によって、それぞれの生活をしっかりと固めていただくとともに、広く大きな組織の力によってその成果を大ならしめ、結局は県民全体の生活を安定させたいと念願しているわけでございます。

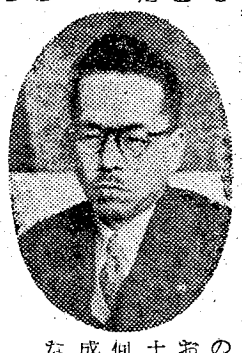
年が改まれば、そこには必らず新しい抱負が生れるのでございますが、私はこの昭和三十年こそ、大災害の復旧完遂に全力を傾注すると共に、産業の振興、新生活の建設に邁進すべき年であると考えまして、決意を新たにしているものでございます。百万県民の皆さん方になお一層の御尽力をお願いし御健康とをお祈り申上げて年頭の御挨拶といたします。

災害復旧完成の年

県議会議長　平越孝三

「温故知新」ということばがあります。新年を迎えて年々歳々、とそ（屠蘇）の香とともにこのことばを想い出し、過去一年をかえりみて、新しき年への発足のかて（糧）としていますが、公人としても、私人としても、私の年頭所感はこのことばで始まります。

昨年は県政にとって誠に多事多難な歳でした。先ず前年から継続の災害復旧第二年として全力をあげて、これが実行に当ったのでありますが、さいわい県当局、県議会、地元民の三者が一体となっての献身的努力で、さしもの難事業も着々とその行程が進み、前途に明るい光明を認め得るに至りましたことは、御同慶にたえません。



希望に明けた昭和三十年は、これが完成の年であります。あらゆる困難を克服してもやりとげなければなりません。災害地の皆さま、さらに一段と勇を鼓して相はげまし、相たすけあってこの未曾有の天の試練に打ち勝ちましょう。熊野川を完成して国家再建に邁進したいものであります。この重大な事は、その重要性において、全国でも特筆さるべき河川用水の革命的大工事で、この完成にはなお数年の歳月を要するでしょうが、土地改良の緊急性にかんがみて、如何なる犠牲を払っても一日も速く完成して、食糧増産に寄与しなければなりません。

最後に「新生活の建設運動」の実践であります。冠婚葬祭をはじめ日常生活で虚礼を廃し、冗費を節約して堅実な予算生活に徹し、個人も公共団体も相ずさえて国家再建に邁進したいものであります。この重大な年にあたりまして、今春は県議会議員の改選がおこなわれ、百万県民の総意によって新しい県議会が生れるわけでありますが、政治に志し、政治を生命とする私としては以上の主旨に副うべく、県政の発展と県民の福祉に微力ながら全力を傾ける覚悟でございます。この上とも県民各位の一層の御協力御鞭撻をお願いして、年頭の御挨拶といたします。

滴々抄

知事公室長　大橋正雄

新春！新春！何ということよいひびきを持つ言葉だろう。先ず「明けましておめでとうございます」と賀詞を申し上げます。▼地球が太陽の周囲を自転しながらまわって三百六十五日、一月一日が来ただけではないかと言い▼正月は冥土の旅の一里塚、めでたくもありめでたくもなしとも言い▼着るに着物なく、食うに食物のない貧しい正月が、なんでめでたいかとも言い▼いろいろの正月があるであろうが、年が改まると共に、心も改まることは事実である。▼その改まった心をもって、一九五五年の新らしい出発を心がけるところに、新らしい生活、真実な生活が拓けてくるであろう。▼心理学者は、悲しいから泣くのではない、泣くから悲しくなるとも言っている。▼新春の青い空を仰ごうではないか。しみじみと青い空をそこから魂の若さが生れてくる。▼あさみどり、すみわたりなる大そらの、ひろきをおのがこころともがな。▼黒潮、饅頭をかい紀南の海辺、霜木ていていとびゆる紀北の山路に、仰ぐ正月の青空。心はればれと昭和三十年をよい年に創り上げようではないか。【藤範生】

謹告

縣民の友は一昨年八月から縣下二十三万戸世帯にもれなく配付して、全縣民の皆さんに少しでもわかりやすく縣政を理解していただけるよう、努力していますが、さらに親しまれる紙面にするため、皆さんに直接関係のある身近な問題をとり上げた地方版を設けることといたしました。ついては本号から、和歌山市内版、海草海南版、那賀版、伊都橋本版、有田版、日高御坊版、西牟婁田辺版、東牟婁新宮版の八地方版を発行いたします内容についてお気付きの点は御遠慮なく編集部までお申し込み下さるようお願いいたします。

昭和三十年一月一日
知事公室長　大橋正雄

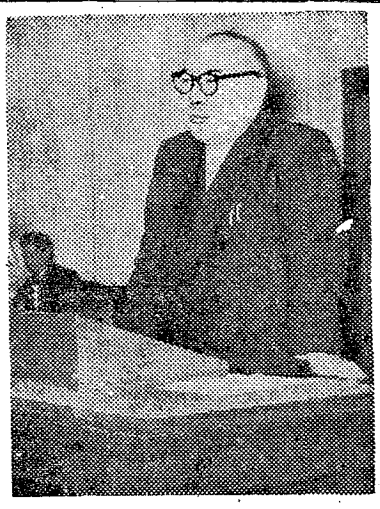
1月12日から18日まで
照明と家庭電化展
丸正百貨店四階会場

医師・歯科医師・薬剤師の方へ
＝年末の届出について＝
1月15日までに住所地所轄の保健所まで——但し和歌山市在住の薬剤師は直接県薬務課へ
同時に流産・死産の届書もお忘れなく御協力下さい
◎用紙は県から配布のものを使って下さい◎

定例十二月県議会ひらく

減額更正 五十六億円 県政史上空前の予算審議

県政史上空前ともいうべき五十六億八千万円の減額更正豫算など、四十議案を審議する定例十二月県議会は、十二月十五日から十日間の会期で開かれました。〔写真は議案を説明する小野知事〕



昭和二十九年は県の行財政両面にとつて実に多難な年でした。特に財政面では県政史上未曾有の危機に直面しており、これを打開するには幾多の難関が予想されますが、県財政の確立は県政進展の基盤なのですから、当面施策の重点をこゝにおいて、財政確立のために総力をあげる必要があります。

昭和二十九年度追加更正予算の計上にあたつては、このような実情から国庫補助の確定による減額更正を主とし、その他は災害復旧費など緊急やむを得ないものだけに止めたため、一般会計で五十六億八千八十七万余円の減額という、県政史上かつてない結果になりました。これは二十八年災害の復旧費を国の決定に基づいて、二十八、九年度に総額の八割を実施する計画で当初予算を計上したのですが、国庫補助は公約の率をはるかに下廻つたため、本年度予算を国庫補助対象事業費と年度内に要する仕越額を含わせたものに更正し、残りを減額したわけです。つまり土木、耕地、水産、林業の二十八年災害復旧費で六十二億五千五百余万円、公共事業費で一億三千余万円、その他で五千余万円がそれぞれ減額されることになります

医大病院に九千八百万円

また追加予算の主なものには、まず二十九年に発生した災害復旧費として二億九千七百余万円、過年度災害復旧費で二千八百余万円、公共事業費で二億四千万円、警察費で一千七百余万円などを計上しています。

以上が一般会計の主な歳出ですが、特別会計の方では医大附属病院の病棟改築、紀北分院の経営費に九千八百九十万円、競輪その他特別事業費に一億一千九百万円、古座川総合開発事業費の減額四億四百万円などがあります。

次に条例案として、県営土地改良事業費の一部を地元に負担させる「県土地改良事業分担徴収条例」、大規模償却資産に課税するための「県税条例の一部を改正する条例」、紀北病院の賃収にともなう「県職員定数条例の一部を改正する条例」その他「付属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例」「県議会議員の選挙区の特例に関する条例の一部を改正する条例」「各選挙区で選挙する県議会議員の数についての条例の一部を改正する条例」などを上程。

その他の議案には、日高郡早蘇村、丹生村、矢田村を廃して川辺町を設置することの承認、海草郡西和佐村、岡崎村を和歌山市に合併することの承認、日高高校および桐蔭高校の増改築工事請負契約締結について、県道路線の認定についてなどが一括上程されました。

家畜導入に融資

無畜農家解消にカンフル

農業経営を合理化するには家畜を飼うことが先決問題ですが、県下八万四千余戸の農家のうち有畜農家は半数たらずの四万一千戸にすぎず、残りが無畜農家というありさまで、このうち将来ぜひとも有畜化しなければならないのは（兼業農家を除いて）二万一千余戸と推定されています。農林省では「有畜農家創設要項」にもとづいて、昭和二十七年から十カ年計画をたて、家畜のない農家の一掃にのり出していますが、県では二十七年度に九三五戸、二十八年に一一三〇戸、本年度には一五五〇戸の実績をあげ来年度には一八五〇戸に家畜を導入する予定で、家畜を買い入れる農家には、和牛に二万八千円、緬羊に五千二百五十円、乳牛に五万二千五百円、緬羊に五千二百五十円が農林金庫から農協を通じて融資されることになつていて、年八分の利子は国と県で七分五厘を補給されますから、農家は五分の低利で家畜購入資金を借りられるわけです。

県ではこのような手を打つて無畜農家の解消に力を入れていますから、この機会を逃さず、どしどし優良な家畜を導入して、農業の多角経営を目指してほしいものと期待しています。

なお、二十九年度の第四・四半期（一月から三月まで）の分で和牛のワクに余裕がありますから希望の農家は町村を経由して地方事務所へ申込んで下さい。優良品種のあつせんもすることになつています

郷土の故郷 和歌山は第二の故郷

鳥取県知事選挙に当選した遠藤前農林部長はあいさつのため十二月十三日来県、県民の皆さんによろしくと次のように語りました。

遠藤鳥取県知事談

今日、第二の故郷ともいうべき和歌山へごあいさつに帰つてきました。七カ年の長いあいだ本県でお世話になり、県民の皆さんには

公私とも一方ならぬ御厄介になりました。特にこんどの鳥取県知事選挙に際しては、多大な支援をいただき心から感謝しております。鳥取県は産業の面でも観光の面でも、和歌山県と共通した点が多く今後両県が手をとりあつていきたいと思います。どうかよろしくお願いします。

新生活運動のページ・新生活運動のページ・新生活運動のページ・新生活

のし飴に断

不良食品を一斉取締り

安心して正月の料理を食べられるよう、県では十二月十五日から二十七日まで正月食品と酒類の一斉取締りをおこない、不良食品を店頭から一掃しましたが引続いて新春六日から漬物類、十日エビスアメ、罐詰類の取締りを実施することになりました

特にタクアンに色をつけるオーラミンや、十日エビスアメを赤く着色するローダミンBなどはともに人体に有害な色素として食品衛生法で禁止されていますので、これらを使用した製品は徹底的に摘発することになつています。

式は公民館で

活躍する廣町結婚改善委

有田郡広町では昨年から結婚改善を提唱し、公民館で三組の簡素結婚式をあげましたが、七・一八水害のため一時中止、本年九月役場の新庁舎落成とともに新生活運動の一環として再発足しました。結婚の話があると、十六名の結婚改善委員が手分けしてその家庭を訪問し簡素結婚を奨めるという方法をとつていますが、十月に入つて早くも二組の改善結婚が行われるという順調なすべり出しを

和歌山市芦原小学校三年生 吉増忠雄君の作文「たいふう」が、全国小学校たすけあい作文コンクールに入選、赤い羽根賞を獲得しました。以下は社会生活の美しい愛情を描いた忠雄君の作品です。

たいふう

全国たすけあい作文コンクール入選作品

ぼくは、つくえの前にすわつて、先生からのしゅくだいをしていると、あめがふつてきました。その雨を見ながら、ふと、六月三十日のたいふうのことを思いだしました。その日は朝から、ドンドンと風や雨がものすごく、外に出ることができません。ぼくは、うちで、じつとしていました。おとうさんは、まだその外を見ながら「よくふるなー」と、おつしやいました。そのとき、土はしの小さい子は、水のためにみんなにげてきましたので、ぼくたちは、本を読んだりしていると、雨もだんだんと、こやみになつてきました。ぼくは、外に出ると、みちほ、川のように、どろ水がながれていきます。その中に、ざいもくや、げた、びんが、ういてながされてきます。西おの家には、水が一ぱいたまつて、池のようになつています。そこのおばさんたちは、いつしようけんめいに、バケツやカンカンでかすつています。いとうのおじちやんが、パンのはこをかたげて、もつてきました。ぼくとおとうさんと「これどうするんだい」と聞くと、いとうのおじちやんが「市やくしよから水のついた家へくばるんだよ」と、おつしやいました。おとうさんは、いそいでかつぱをきて、いとうのおじちやんと、パンをくばりにきました。ぼくも、てつだつてあげようと思つて、外に出ました。おとうさんと、おじちやんと三人で、水のつかつた家へ、パンをくばつていると、また、雨が一ペンに、たきのようにドードドと音たかくなつてきました。それでもまけずに、水の中を一けん一けんくばつてあげました。みんなが「こんなにしていただいてほんとにありがとうございます」と、ぼくにいつてくれました。ぼくは「かまわんよ」と言いました。そのうちに水もひきました。よその畑の麦は、みんな、土をかぶつてたおれていたので、ぼくもてつだつて、おこしてあげました。「よるねられないよ」といつて、みんなは、かなしそうな顔をしていました。ぼくも、かわいそうに思いました。ぼくたちは、西おの家をふいたり、あらつたりして、てつだつてあげました。すると、西おのおばさんは、心から「どうもありがとう」と、いつてくれました。ぼくらはあせをかいて、出てきました。すると、川の水はうずをまいて、木やごみが、みんながされていくのです。

お父ちやんに負けないぞ！貯蓄増強に一役
買つて大繁昌する砂山こども銀行風景

新しく作られた広町結婚改善実践要項をみますと

一、結納金は全廃する（品物を贈るときは一万円以内）

二、調度品は五尺タンス一、ふとん一流、鏡台一、針箱一、下駄箱一、タライ一本を最高限度とする（洋服タンス、ミシン、自転車を持参する場合はタンスかふとんを省く）

三、荷飾り樽揃を廃止する。

四、結婚式はなるべく公民館で行い、式服は新調しない。披露宴は手料理に折詰程度とし、鯛や海老は用いない。土産物と近所招きはやめる。

五、入籍は式と同時に行う。

六、出産のとき、産衣は婚家で負担し、里方からは賀祝な当座の産衣一枚を贈る。

といつた申合わせが目立つています。

さて、これを実践する方法ですが、では相手方の町村委員会に連絡して、簡素結婚への協力を求めるとともに、双方から申合わせ実行の誓約をとり、実践台帳を作つて町村に公開することになつています。こうして広町の結婚改善運動の第一歩が踏み出され、漸く軌道に乗りつゝあるのです。

年賀状は廃止

県職員の年末年始

新生活運動下の新春を迎えるにあたつて、年末年始の諸行事を自粛するよう、副知事から県職員に依命通達が出されました。この趣旨によつて、三千八百県職員は次の四項目を守つて、明るい正月をむかえることになりました。

▼年末年始の贈答をやめる

▼忘年会、新年宴会をやめる

▼庁員開の年賀状交換をやめる

▼元旦の廻礼をやめ、元旦の祝詞は午前十時から十二時の間に登庁しておこなう

補導生募集

種目	定員
漆器	四〇
建築	三五
木工	三五
機械	五〇
自動車整備	三〇
洋裁	五〇
理容	三五

◎各種目とも期間は一カ月。寄宿舎の設備あり。

◎資格　義務教育修了以上

◎年令　制限ありません

◎特典　△授業料その他経費不要△作業手当支給△学生定期割引△就職あつ旋

◎締切　二月二十日

◎申込場所　最寄公共職業安定所

学窓を巣立つ青少年の
雇用に御協力下さい
明年3月卒業し就職希望者が県下で8,366人います
就職に深い理解と協力を下さい

移民に明るい見通し

新しくパラグアイ アルゼンチンへも交渉

移民県として全国的な本県では二十八年度に三一一名を送り出し、その後も希望者は増加の一途をたどり、いかに県民の海外飛躍の熱意が強いかを示しています。以下今後の見通しを述べてみましょう。

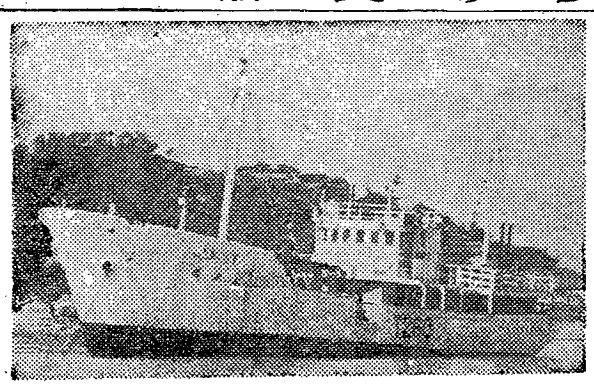
戦後七年目の二十七年十二月、国民の海外移住の熱望はブラジル呼寄移民七一名で実現し、二十八年度は政府によって予算化され、一、五五六名と前年の二十数倍に飛躍し、更に二十九年度は当初の計画、三、五〇〇名のうち十月末まで既に二、一四五名を送り出している。このように連年飛躍を続ける原因を考えますと、国民の間の海外飛躍の夢がたかまり、除々にではあるが政府の移民施策が軌道に乗って来たこと。これは中南米諸国より相ついでもたらされた大量の移民受入れ情報が政府を刺戟したと考えられます。

では三十年度の見通しを現在の情勢より判断してみましょう。先ず三十年度の政府計画案は一〇、三五〇名で、内訳はブラジル（六、三〇〇名）アルゼンチン（一、〇五〇名）パラグアイ（五〇〇名）ボリビア（一、五〇〇名）アメリカ難民（五〇〇名）その他（五〇〇名）

以上のように総数は、本年の三倍弱、国別では新たにボリビアが加わり、更にアルゼンチン、パラグワイに対して本格的送出が準備されています。

その他国内的には海外移住資金融通法。移住公社（仮称）の設置が急がれ、ドル借款が殆んど決定的であるなど好条件が揃っています。しかしその反面移住輸送の船舶。現地受入機関、施設の完備、移住協定の締結などの解決が急がれています。

以上、明年度の政府計画と現況をお知らせしましたが、本県では計画移民については更に強く推進し、呼寄移民についてもブラジル国のほかパラグアイ、アルゼンチンに、それぞれ関係者に要請して実現したく計画中です。また独身青年、若夫婦の移民についても極力送り出したいと念願しています。



バンダ海から朗報

那智丸 まぐろ漁に新記録

十一月八日に勝浦を出港した県水産指導船那智丸は、新漁場を求めて二十日バンダ海（セレベスとニューギニヤの間にある）に到着、附近の県内漁船二十余隻を誘導しながら東経一二七度二〇分・南緯七度二〇分の地点で操業を開始しましたが、前回まで出漁していたビスマルク海峡にくらべてはるかに漁況がよく、十二月九日まで十七回にわたる延縄（はえなわ）操業で、一万三千貫のマグロをとりました。いままでの最高は昨年末の一万二千貫ですから、バンダ海への初出漁でレコードをつくったわけです。一万三千貫のマグロといえば、約一千本で満船ぎりぎり、これ以上はとても積めないので、残念ながら操業を打切りましたが、獲ればまだまだいくらでもとれたでしょう。このように有望な漁場を発見したことは、県下遠洋漁業界の将来に明るい見とおしをあたえるものとして、何よりも大きな収穫でした。

那智丸はこの朗報を県へ打電するとともに、船腹一ぱいのマグロを満載して帰航の途につき、十二月二十五日に静岡県焼津港に入港しました。船にはガイガー計数器を設備していたおかげで、放射能のおそれも全くなく六百万円をこえる歳入を得たことも那智丸のレコードでした。なお那智丸は新春を基地田辺港で迎え、一月中旬に近海のまぐろ漁に出動する黒潮丸と相前後して、再びバンダ海へ向う予定です。

【写真は那智丸】

高知から留学生

みかんの栽培習得に

紀州みかんのすぐれた栽培技術を学ぼうと、高知県から農業内地留学生が二人、出荷たけなわの和歌山へやってきました。安芸郡室戸町の松島恒雄君（21）と、高岡郡須崎町の津野季喜君（19）の二人で、いずれも高知県の4Hクラブ員の中から選抜されたもの。松島君は温州みかん志望で宮原村木村正一氏宅、津野君は福原オレンジ希望で串本町高岡春吾氏宅にそれぞれ落着き、早速みかん取りに従事しながら技術取得に懸命になっています。二月には更にもう一人夏みかんの勉強に来県する予定で、いずれも六カ月間、受入農家の家族と起居を共にしながら本県の進んだ果樹園経営の技術を学ぶことになっています。

十二月二日、県庁を訪れた両君は、こもごも次のように語りました。

私たちは高知県の青少年内地留学制度の実施で、応募者五十数名の中から選ばれて和歌山へ参りました。紀州と土佐は気候もよく似ており、当地のすぐれたみかん作りをしっかり覚えて帰って、故郷で役立てたいと思います。

貯蓄推進 ポスター図案募集

明るく楽しい生活を築きあげるためには、みんなが無駄をはぶいて貯金を励行しなければなりません。県では強く推進するために貯蓄推進に関するポスター図案を募集しています。

▲募集作品　貯蓄推進の必要性を強調したもの

▲募集〆切　三十年一月三十日

▲応募資格　本県人であること

▲賞品

一等　一名三千円程度の品

二等　二名二千円程度の品

三等　三名千円程度の品

佳作　四名五百円程度の品

▲送り先　県地方課和歌山県貯蓄推進委員会

古座川ダム工事進む

はく進する車窓に白浜半島を右に臨み更に南進して本州最南端潮岬の見えるあたり、海あくまで青く岩に砕ける白浪はげに白龍の躍るが如き壮観である。〃ここは串本向えは大島〃の串本で汽車は急カーブして〃心とどけ〃の橋杭岩の景観に一入の思いを込め、其の昔毛賊をきわめた古座の町に下車する。

駅のすぐ前には古座川の清流が流れ、この辺一帯は台風の通過地点でわが国でも最も雨の多い土地とされている。平素は美しい澄みきった清流も一たび台風が訪れると濁流滔々として怒ち田畑、道路、橋梗を押し流し、更に人家に及んで人心を奪やしていた。この川筋の過去の被害を眺めると二カ年平均一億数千万円に上っていて、ひどい年は一夏二・三回も見舞われている人をして「永住の地なるも安住の地ならず」と嘆ぜしめたのもけだし無理からん事だ。

県は和歌山県から災害をなくしようとする小野知事の積極的郷土建設県政の一環として「安住の地」たらしむべく、ダム建設を決意し近畿地方に始めての防災兼発電ダム築造にとりかかったのである。

ダムの大きさは一〇万立米で県庁舎の中へコンクリートをぎっちり詰込んで二つ半合せたようなもので、高さ五八・五米、天頂長二二五・四米、天頂巾五米ダムにたゝえられる水量は二五七七万立米、年間発電量は二九〇〇万kWHである。

ダムから六粁下流の明神村相瀬では、ダム用の骨材（砂利、砂）を採取、洗浄し、大中小に選別する。大きすぎる砂利はクラッシャーで適当な大きさに砕かれ索道に積まれ六粁の尾根を運搬される。この骨材や、セメントは種類別に山腹に貯蔵するよう設備され、その設備は県下始めて唯一のもので科学的に計算され能率化されている。一例をあげればコンクリート製造機バッチャープラントは骨材やセメントを自動計量器で一定の量に計られ撹拌室で混合される間に水も自動的に計られコンクリートが造られる。一・五立米を造る所要時間はわずか一分四五秒のスピード。鍋られたコンクリートがバケットに入れられて或る地点まで走りケーブルクレーンで川底へ運ばれるのが一分一五秒。打設にしてもパイプレーターで震動させて固めるのだ。

現在ではこうした工事の外にダム工事中最も重要な川の締切工事をやっている。これに従事する人々は身を刺すような川水につかって作業をしているが、皮肉にも冬の間の渇水期でないとやれない仕事で四月までに仕とげないと出水期が来て一年間全部の工事がストップしなければならないとは意地の悪いものだ。この現場から三〇〇米下流で目下発電所用地を整備すると共に発電用水の隧道を堀りつゝありメーカーに発注した水車発電機も製作を急ぎつゝあって、ダムの完成する頃にはスマートな白亜の発電所や変電所など一連の発電設備も完成するのである。

完成までの一カ年間昼夜兼行三交替制で頑張っている県関係職員は、他府県にみられない若手揃いで、小川所長以下平均年令二五才、一糸乱れず希望に満ちて働いている。

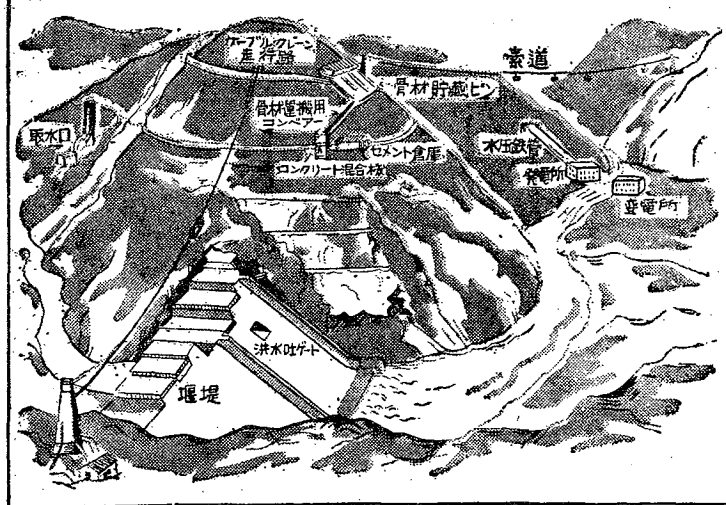
昭和三十一年四月満々とたたえられた湖水から流れ込む水圧によって心よいうなりを生じ水車が廻転し発電が開始される時、災害防止の悲願が成り一カ月約一千万円の電気料金をあげ乏しい県の財源にプラスすることであろう。

然し最後に特筆大書したいのはこうした陰に祖先伝来の農地山林宅地などを湖底に沈め、村外へ転住するなど、下流住民の幸福と県百年の大計の前に敢えて忍び難きを忍んでくれた七川村民の尊い心情は県民の皆さまと共に衷心から感謝と敬意の念を捧げると共に、子々孫々永久に多幸ならん事を祈るものである。

（中尾県利水課長）

寒さ忘る現場の意気

建設の陰に七川村民の協力



告知板

人事異動

【十二月二日】命総務部統計課長宮崎敬太郎▼命農林部蚕産課長薮中利一▼命農林部蚕産課代理兼庶務係長事務取扱北垣内勉▼命農林部蚕産課増殖係長中川四郎▼命総務部庶務課庶務係長森沢広助▼命経済部事業課経理係長三崎久夫▼命知事公室人事課勤務山本宗一

【十二月十五日】願により本官を免ずる、山本宗一

一月一日に誕生

橋本市、由良町など

昭和二十八年十月に町村合併促進法が制定されてから、本県では着々と合併が推進されていますが、三十年一月一日に伊都郡橋本、岸上、山田、紀見、隅田学文路の六カ町村が合併して橋本市が実現しました。

また、日高郡では由良、白崎、衣奈の三カ町村が由良町として早蘇、丹生、矢田の三カ村が川辺町。海草郡西和佐村、岡崎村が和歌山市に編入し、それぞれ一月一日に発足しています。

自動車運免試験

一月の自動車運転免許試験は次の日程で行われます。

七日―十三日和歌山市▼十五日―十九日新宮市▼二十一日―二十七日和歌山市▼二十七日―三十一日御坊市

看護婦 保健婦 学生募集

詳細は本院又は最寄保健所まで

入學資格
看護学部…新制高校又は旧制高女卒
保健学部…看護婦か旧制保健婦の免許を有するもの高等看護学院卒業者

和歌山市徒町　県立高等看護学院

お母さま方に警告！

今冬はジフテリヤが流行しています

お子さんの予防接種はもうすみましたか？

保健所は何時でも接種の御希望に應じます

市内版

一月の県営競輪
4 1 2 3
5 6 3

近代的観光都市へ

都市はその国の文化の尺度であるといわれますが、従来の都市は無計画、無秩序に放任されて発展したため、街並は整わず家屋は密集し、上下水道の設備も不完全で公園や広場なども少く、衛生上、防災上大変不安な状態におかれていました。ところが戦災を契機として明るい住みよい都市建設に着手することになり、和歌山市の場合は、知事が施行者となって戦災復興土地区画整理事業を実施し、整然とした道路の新設や拡張、小公園の設置など、失業対策を兼ねて苦しい財政ながら、和歌山市再建の下地を作ってきました。終戦の際焼却された精密測量図の再製や進駐軍上陸基地となった関係などのために、他府県の都市よりスタートは遅れましたが、知事はじめ関係者の努力と市民の協力とで、今では全国平均を上廻る状態にまで進んでいます。

今年度は市駅前の家屋を移転して近代的な駅前広場を作り、市駅中央商店街を建設し、市電三木町停留所付近や日赤病院前などの家屋移転と並行して街路敷地を進めます。なお明年度から三カ年計画で三億二千余万円（市へ委託した区域を含む）を投じて、未完成の敷地や不備な点を整備する予定で、建設省関係各課の決定も一応通過しています。

和歌川のり汚水問題
応急対策として樋門を新設

和歌川口のり養殖業者とその家族二千名が、死活にかかわるとして悲通なさけびをあげた工場汚水の問題は、県と市が協力して解決へ全力を挙げています。昭和二十三年以来（二十六年を除き）毎年減産しつづけていた和歌のりも、今年はまことにつきが良く、十一月二十日には四寸余りものびて、今年はよい正月ができると業者は喜んでいました。ところが、二十三日の夜から二日間でその全部が白く変色して腐ってしまいました。借金して立てたヒビ竹の代金（約七百万円）はもちろん、のりが全部枯死するかどうかの瀬戸際に立たされた業者、この原因は和歌川に沿いの工場からひどい汚水が排出されたためであるとして、工場に対して強硬に抗議しました。

水流遮断の非常措置

県及び市では、事件の発生と同時に実情の調査と事態の収拾に懸命の努力をつづけました。また工場側でも、従来からある程度の施設で汚水の浄化につとめる一方、排水時間を考慮するなどの誠意をとってきたのですが完全なものとはいえません。しかし、完全な浄化設備を作ることは時間的にも、また目在の経済情勢では会社の経営上からもとていできないことです。といっても、枯死するかどうかのむずかしい解決策

それと同時に、県では大橋知事公室長を委員長とし、関係課長と市の山本助役を委員とする対策協議会が、早急に解決するため連日真剣な検討を重ねた。県と養殖場へ汚水を流し続けられては、のり業者はたまりません。小野知事も十二月一日、地を視察しましたが、緊急にかつ非常の措置として、必要なときには撤去する条件で小雑賀橋の上流地点の仮ぜきによって一時流水をしゃ断することが、許されました。

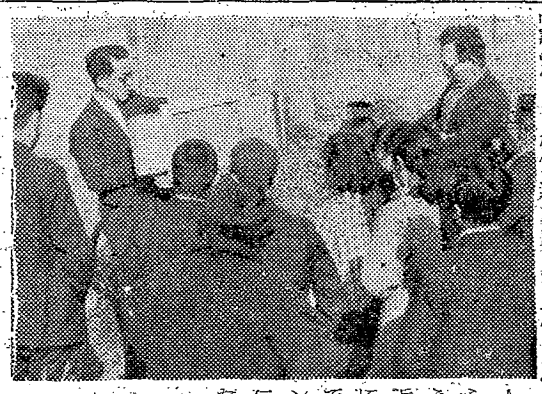
しては、明治、大正時代から、全国的に有名な和歌のりの生産まもり、関係者とその家族二千名の生業を保護しなければならないと同時に、汚水を排出する和歌川沿いの化学工場、皮革工場、染工場は、どれも本県産業中主要な地位を占める重要産業であり、工場の汚水処理装置が過重な負担となってその発展を阻害することがあってはなりません。更に、県と市が協力してこれに当ったとしても、莫大な経費が要る無策は、現在の財政状況からはとても望み得ないことで、この問題の的確な解決策は早急に得ることは極めて困難です。

望まれる根本対策

ところで、緊急の措置である仮ぜきによって、汚水の流出は阻止されましたが、和歌川を通航する砂利、砂運搬のはしけが全く通れなくなりました。海を廻ることのできる大型船は別として、この川を唯一の航路とする小型船にとってこれは死活の問題です。

そこで協議会としていろいろ検討した結果、約五間の樋門を設置することに決定しました。つまり、満潮には開放し満潮後には閉める。しかし、舟の通るときはその都度開閉するということで、はしけの組合と漁業組合との間に円満な了解ができました。この工事には、百数十万円の費用がいりますが、和歌川市の協力を得て、一日も早く完成するよう最大の努力を払うことになりました。

和歌山市河西地区の一青年がふとしたことから強度のヒロポン中毒になりましたが、注射針が折れこんで大怪我したのが機会に母の愛情に包まれて立派に更正した実話をもとにして、県婦人児童課が"春ふたたび"という紙芝居を作り近く紙芝居業者に依頼して市内で上演しヒロポン撲滅の啓蒙宣伝をすることになりました。



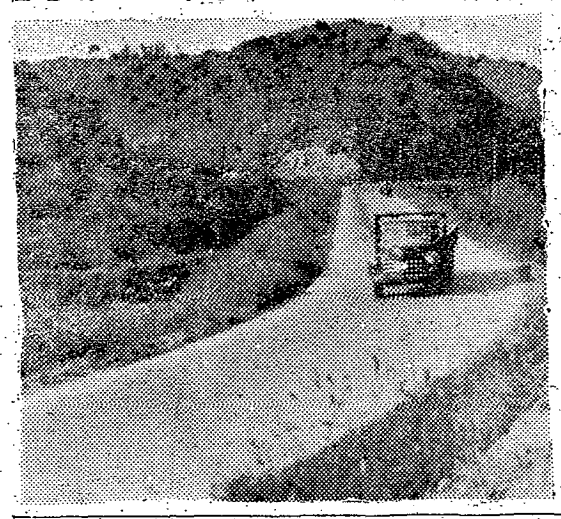
写真は児童相談所で"春ふたたび"を上演する婦人児童課員

なぜ遅れた城北橋の工事
二月末には通行できる

大阪と和歌山を結ぶ二十六号線と和歌山一松坂線をつなぐ重要な城北橋は、昭和二十年七月の戦災で焼け落ち、その後は仮橋で通行を続けてきましたが、二月末に鉄筋コンクリート、巾員十一米、長さ二十八米の近代的な橋が出来あがります。

この橋は、二十八年十二月二十日に工事着工、二〇〇万円で竣工し、二十九年十月中旬に完成する予定でしたが、工事中雨が予想外に多く、コンクリート工事が遅れそのうえに河底に障害物が多くその除去が非常に困難をきわめると共に、和歌山港から荷物を京橋、築地辺に荷上げする運搬船の唯一の水路のため予期以上の工事中断があったのみならず台風々々が起り止むを得ず目標期日までに完成することができませんでした。なお現在改良中の二十六号線和歌山県域の完全舗装工事延一粁の工事は一月末に予定通り完了されます。

これらの工事が完成すると大阪和歌山間の自動車交通は便利となり、産業の振興並びに観光面発展の倍加が期待できます。



【写真は完成した縣境附近の二十六号線】

無駄を省いて貯蓄する
砂山の主婦たち

一家の台所をあずかる主婦たちが、集まって家庭の生活を合理化し、多少なりとも貯蓄して将来の生活安定をはかりましょうと、市内砂山地区婦人会では、昭和二十七年初の正月会合で話がきまり、同年四月に婦人貯蓄組合が誕生しました。

組合では、砂山地区を三〇町内に分け役員がそれぞれ受持を定めて、毎月九日各家庭をまわって、翌日の定例婦人会に持ちよって集計がおこなわれ、受り取に来た親銀行の係員に引渡されます。月によって額高の違いはあるが本年十二月末の累計は十九万八千余円になります。

必要により払出しをしたい者は婦人会長の認印がなければ出せないようになっております。また、砂山地区内の婦人の方で、厚生資金がない者には、組合長に申し込めば、組合員中より選出されている資金貸付審査員によって審査の上、三万円以内ぎでは、親銀行より資金を借入れの保証になり融通をうけることができるようになっています。

23万一家に必ず一冊を！

新年号　1月1日発行

【座会】
衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讀本
◇茶粥とがんの話　岩鶴龍三
◇すきま風　人間はネズミに紙められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天氣予報
◇わか山歌壇

わか山

（一部定価　三十円　送料　五円）

講読ご希望の方は和歌山県庁企画調査報課内縣報協会（振替口座大阪五二〇三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

山火事をなくしましょう！

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になっています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

海草・海南版

冬の健康は先ずうがいから

沈下対策本決り

河北 河南 地盤變動地区に福音

続出する極発性地震に、いらいらしている地盤の変動をきたした河南・河北地区は、悪水の停滞湛水ひどく、農作物は激減、区民は今後を憂慮して、不安な気持につつまれていましたが、かねて慎重な対策を企画し善処を急いでいた県では、いよいよ昭和三十年度からこの難工事に取り組むことになりました。

紀の川河口近くの左岸（俗に河南地区と呼んでいます）と右岸（俗に河北地区と呼んでいます）には二八六四町歩の広大な平野が展開して、県下の重要穀倉地帯を形成しています。

この地区は、昭和二十一年、昭和二十三年に発生した震災に起因する地盤沈下の影響を受けて以来、その後年々増加している極発性地震も加わって、地盤変動が急激に発達し、耕地は次第に排水不良となり、近頃では平均四〇糎も沈下して、極部的不等沈下を起している所では六〇糎から七〇糎に達し、四日から五日間も悪水が停滞湛水している現状です。このために生産量の激減、病虫害の発生、稲苗の植替え、裏作付不能地の増加など、戦後の経済難に重なって、この地方の農業経営をおびやかしています。

長期に亘る湛水は、人畜の衛生面や或は交通面に悪影響して、単に農家経済だけでなく、大きな社会問題です。

この対策をいそぎながらも慎重に検討してきた県では、いよいよ昭和三十年度から海南、河北の両地区に地盤変動対策事業を強力に押し進め、三カ年計画で完成しようと明るい目標をたてました。その事業計画の概要を紹介しますと、

河南地区…那賀郡小倉村、海草郡和佐村、西和佐村、和歌山市にまたがる被害面積六五四町歩は、排水が極めて悪く、農作物は三割以上の減収になっていますので、既設排水路の断面を拡張し、新規に幹線、支線の排水路を二万米にわたって設置、悪水を短時日に排除し、七八〇〇石の減産を防止する計画で、査定事業費は一億六千万円となっています。

河北地区……那賀郡山崎村、海草郡山口、川永、紀伊、直川、有功村の六カ村にまたがる被害面積は七二八町歩で、樋門の排水能力が低下して紀の川洪水位低下後湛水量排除に四日から五日間もかかるので、既設排水路の断面を拡張し、紀の川へ連絡する排水路一万五千㍍を新設するとともに、紀の川放流地点の樋門の断面を拡張、更に樋門を五カ所増設する計画で、一〇〇〇石の減産防止を見込んでいます。事業費は一億八千万円。

本版新設に寄せて

海草地方事務所長　前島要馬

郡民の皆様明けましてお方に県政に御理解を願っておりますが、このたび新春を機として、郡民の皆様に直接関係の深い問題をとりあげたいわゆる地方版として「海草・海南版」が新設されました。

本版新設の趣旨に沿ってできるだけ努力して参りたいと存じますが、皆様のよき地方版として育てて頂くよう、何かと御指導、御鞭撻のほどをひとえにお願い申し上げます。

「県民の友」が呱呱の声をあげてから丁度七年目、特に一昨年八月からは県下各戸に配付されるようになり、皆様に親しまれつゝありますことを深く喜んでおります。

申し上げるまでもなく「県民の友」は紙上を通じて皆様方の「県政」に対する御意見を吸い上げ、皆様の生活向上に役立つ為の「県政」を伝えるものであります。

新生活

企画部中心でいよいよ積極的に推進

旧ろう六日、海草地方事務所で郡内の町村長と各種団体の役員約四〇人が、前島所長を囲み、新生活運動の推進について種々協議した結果、企画部を中心とした次の五部門を設置、積極的な運動を促進するよう決めました。

会長　前島海草地方事務所長
副会長　松尾海草地方教育局長

第一部門＝冠婚葬祭の改善　町村長各部一名　青年団　婦人会　公民館連絡協議会
第二部門＝貯蓄の励行　町村長各部一名　農協連支部　町村議長会　小学校長会
第三部門＝衣食住の工夫と改善　町村長各部一名　友の会　4Hクラブ　遺族連合会
第四部門＝保健衛生の向上　町村長各部一名　未亡人会　人権尊重推進協議会　中学校長会
第五部門＝助け合いの実践　町村長各部一名　地方教育委員　連絡協議会　社会福祉協議会　遺族連合会

各部門は早速活動を始め、十二月十二日西脇町、十三日山口村十四日和佐村、十五日真村で新生活運動促進の講と映画の会を催しましたが、小野知事は多忙な公務の中から西脇町、和佐村に出席して、強く一般の理解と協力を要望しました。

養蚕にカこぶ
農村デフレを乗切るため

最近のデフレは山村農家にも深刻に影響して、経営改善の問題が改めて真剣に考えられてきました。去年十二月二十四日、上神野村で開催された郡内養蚕農業協同組合役員会でも、この点種々協議されましたが、災害復旧後農家の現金収入の途として養蚕がただ一つのものであるところから、山村農家の経済維持農業経営の合理化が強く叫ばれて、農作業の機械化は力強い進歩を見せています。特に動力耕うん機の普及は目ざましく、海草郡での利用は既に二百数十台にのぼり、農家労力の削減に大いに寄与しています。

県下で初めて……
……耕耘機競技大会

去年十一月十六日西和佐村大字東栗栖で、使用技術の向上と、利用の高度化などを狙いとする第一回耕うん機利用技術競技大会が開催されました。

この競技会は本県でも初めて開会前には既に二百余名の参観者で会場は賑わい、午前十時前島海草地方事務所長の開会の挨拶についで、農業試験場朝日技師から競技上の諸注意があった後、三回に分たれた二十六名の出場者によって、エンヂンの音もすさまじく日頃習得の技を競いました。

競技の審査は、運転作業操作、作業精度、機械整備状況などについて精密に検討された結果、加藤審査長から

秀等賞　和佐村　東出　恒雄
〃　川永村　鳥居　保
〃　西和佐村　亀井　隈之
優等賞　和佐村　中川仁之輔
〃　〃　辻　敬三
〃　山口村　宮崎　秀治
〃　和佐村　和佐　繁夫
〃　山口村　中家　務

に栄誉の賞状と賞品が授与されました

管内施設訪問記
院……養老……橋寮を訪ねて（その一）

【写真は橋寮】

黒く垂れた雲足が切れて一条の光が塩津の入江に落ち、枯葉の敷きつめた岩道が冷え冷えと感じる。新聞紙上に喧伝されたあのいまわしい暴行事件があって

から四ケ月、海草郡三十三ケ町村養老施設組合立橋寮を訪問した。西方海原の彼方には四国、淡路島がかすみ、和歌浦双子島片男波、黒江湾と白砂青松の海浜が一眼に収められる岬には、波音と松籟のほか、浮世の物音はきけぬとさえ思われ、その岬に建っている橋寮は、交通不便を除けば正に幽雅閑静理想の所といえよう。寮母に来意を告げ寮長神野志義隆氏に面会する。

丁度昼食時であり一斉に食前五を唱和する声が食堂よりきこえてくる。寮長との話は後にして食堂へ……現員三十七名、二名の起居不自由者を残して全員が揃い、眼をつむり両手を合して一心に唱えている。食事の献立は七分三分の麦飯、さばの切身味噌汁、漬物で現在食生活よりみて先ず良の部、量は普通人には少し多い。多くの人は全部食べるとのこと。

食堂を後に居室を見る。よく整頓されて持物は鳴々にきちんと置かれており、手内職の軍手が所々におかれている。一日平均一〇円乃至二〇円の収入でそれで好みの物を買うという。寮内は静かでこゝであの暴行が行われたとはどうしても思えない。

寮長と対談する当事者の東野かねは、つね日ごろ収容老人に同情して全く献身的な看護振りであったと見受けられた。寝たきりの老人の大小便の世話から布団衣類の洗濯などこまねずみのようによく世話をやいた。寮からいえば感謝されてよい人だったと思う。然し生来耳が遠く、言葉が粗暴であったので、取扱に誤解を招き収容者達の反感を買ったもので事実無根の事も多いと思う。然し世間をさわがせた事は全く寮長の不徳の至る所であると深く反省し、今後は老人第一主義に心掛け、二度とあのような事件を起さないよう努力しているとのこと。

収容者と面接したが、事件内容については多く語らず、今は全く満足して、この上は極楽浄土のお迎えをまつのみと、極めてけんきょに語っていた。全寮こそって当時の悪夢を払拭すべく努力している明るい熱意が快く感じられた。筆者は辞するにあたり、収容者の状態に心暖る想いの中からなおこの上の幸を願うたのである。

町村合併は住民の熱意で

大阪府庄内町の一部住民が豊中市との合併を決議した町議会議員に強硬な反対デモを行っているという報道は町村合併に一つの課題を投げかけています。町村合併というような、住民に最も大きな影響を持つ問題は先ず住民の意志を尊重することが大事ですし、同時に何故合併するかを知ってもらうよう努力することが必要です。

町村合併促進法によると、合併はあくまでも住民の意志によって行い、決して強制はしていきませんが、合併した町村に対して、国や県が財政上優先的な取扱いを約束しています。従って小学校や中学校の校舎を新しく建築したり消防自動車を購入したり道路や橋をつくるために、長期に借金する場合でも（起債といいます）合併町村は優先的に取扱われます。起債にしても交付税にしても、合併した町村が優遇されると、その反面金額は国の枠が定まっていたため、合併しない町村は不利益な立場になります。

国の政策がその方向に進んでいる限り、出来るならば合併をして、住みよい明るい町村をつくるよう考えてみなくてはなりません。

海草郡でほ一月一日から西和佐村、岡崎村が和歌山市に編入され、二月一日から加茂谷の仁義村、加茂村、塩津村、大崎町、下津町が合併して、下津町として新発足することになっています。町村に合併の気運が出てきて、一応合併をどうするか具体化してくると、部落懇談会を開いて村長や町村議員や、また地方事務所の合併事務担当の係官が出席して、住民とひざを交えて懇談するようしています。

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活の建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたいと署名運動を起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知っておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知っている人でも更に深く理解を願い、賛同をえ、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動を展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になっています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

23万一家に必ず一冊を！

月刊わか山　新年号　1月1日発行

【座談会】衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讀本
◇茶粥とがんの話　岩鶴龍三
◇すきま風　人間はネズミに舐められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天気予報
◇わか山歌壇

（一部定価　三十円　送料　五円）

購読御希望の方は和歌山県庁企画広報課内県広報協会（振替口座大阪五二〇三三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

那賀版

◇……ここ一年間、重なる災害に打ちのめされた本郡も、昨年初頭から、知……◇
◇……事の熱意と各町村長の団結に加えて、地方事務所、土木出張所、農地……◇
◇……事務所、保健所などの縣出先機関が呼応し、八万郡民の意に添って一……◇
◇……路復興へ邁進した結果、わずか一カ年にして新興那賀のいしずえが固……◇
◇……められ、新春……とともに輝かしい将来を約束されるに至りました。……◇

供米は八七%を突破しました。もう一息がんばりましょう。

禍を転じて福に
躍進する『新興那賀』

〝貴志川の村づくり〟
山田ダムも三月末に完成

貴志川の改修と耕地復旧整理で区画整然とした水田二五〇町歩は一五億円の巨費と地元民の熱意で完成、新春早々から交換分合の話合いが進められ、それぞれ個人の手にかえるわけですが貴志川の両岸に延々と連なる新堤防とともに、見違えるような新しい農村として見事な復興ぶりをみせています。

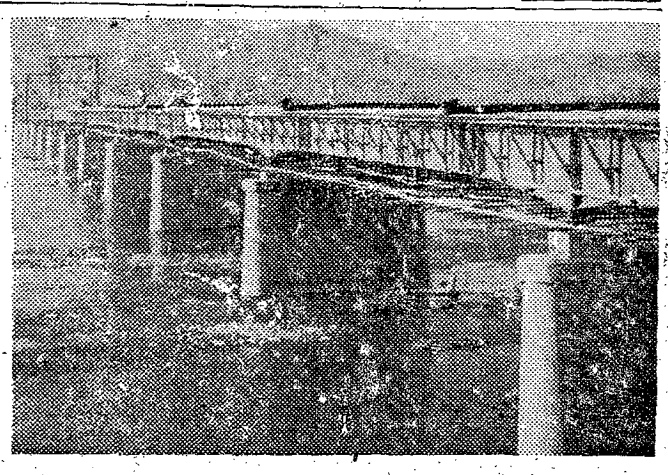
一方、県下で始めての灌漑用山田ダムも三月の末には完成の予定で、六月までには八百余町歩への配水路が整備されることになっており、貴志川地方の村づくりは着々とすゝんでいます。

◇防災と治山工事

いままで繰り返された災害の惨禍は、すべて山地の土砂流失が原因となっていることが幾度かの体験で知らされましたので、災害防止は先ず治山からと、地方事務所では昨年四月から飛躍的な活動に入っていますが、二十九年度は既に九カ町村、一八カ所の砂防工事が八〇%の進捗をみせており、来年度にさらに倍加して八千万円を投じ、災害の完全防止を目指す体制をととのえています。

十津川紀の川総合開発の一環としての岩出井ゼキ（灌漑面積三千町歩）と藤崎井ゼキ（千二百町歩）は、いずれも六月までに頭首工の工事を完成させる予定で、目下、昼夜兼行で工事を急いでいます。

旱害解消へ
統合井堰工事すすむ



橋出岩〝戸門の西〟い近工竣

また和歌山市、海草、那賀、伊都の方を結集した紀の川改修促進期成同盟（会長小野知事）では、紀の川堤防の整備と増強を促進していますから、台風シーズンが訪れるたびにさらされた洪水の脅威も影をひそめ、総合井ゼキの完成と相まって、日照け知らずの沃土が実現、名実ともに穀倉那賀の面目をたてることになるでしょう。

岩出橋近く竣工
県道粉河紀伊線改修も

国道岩出橋は長さ三八五米、幅員七米半、総工費二億二千万円で三月には堂光照朗の粧いも美しく完成して、西の門戸としての偉容を県下に誇るはずで、また龍門橋も長さ四四〇米、幅員四米半、工費一億数千万円で四月末に竣工の予定、それぞれ雨

那賀版新設に寄せて
那賀地方事務所長　下林　弘

〝春めぐりて心新たに〟

那賀郡の皆さんあけましておめでとうございます。

災害の真唯中にとびこんで参りまして以来、小野知事の指示のもと、この復旧と処理に大童に精励いたして参りましたが、思い起せば短いようでまた長くて関心をもつているだろうか。

私の生涯を通じてさゝやかな歴史の一頁を飾るものとなりましたに〟

ともいうべき、あの復旧への御決意と結果力によりましたことゝ感謝の外ございません。

いま心あらたに昭和三十年の曙光を見るにあたつて、未だ大きく残されている災害の復旧はもちろんのこと、新しい村造り産業交通生活文化の栄えた住よい新生楽土を那賀〟の建設に邁進いたしたいと念願いたしています。さて、これらの県行政事情や県民の活動状況などを広く知つていただくために、県の広報紙として「県民の友」を毎月皆さんのお手許へお届けしているのでありますが、この度、なお本誌を拡充強化して新しく「那賀版」を設けることになりました。皆さんのもつとも身近な郡内事情を併せておしらせすることによつて、より親しみをもつて本誌の御愛読を願うとともに、皆さんの率直な声を反映していただき、忌憚のない御批判と御協力を賜りたくよろしくお願いします。

いまや黎明が足下に輝いています。明朗にして実直、県民の友を充分に御利用いただき、皇々と実践していきたいものです。

久しく眠れる獅子かの態勢にあつた本郡も、強い息吹きをもつて立上ろうとしています。

古いゆかりと伝統をいち早く再興し、躍進那賀の面目を天下に発揮されんことをひたすらお祈りしながら年頭の御挨拶といたします。

盛りあがる新生活運動

新年を迎えて、郡内各地に旧い殻を破つた新しい生活を建設しようという運動が盛りあがつています。昨年九月県が提唱した「新生活建設運動」に、いち早く活動を始めた本郡の推進運動は、郡内全地域に大きな関心と反響を呼んで、たくましい足どりのうちに旧ろうすでに数々の実績をあげています。

改善結婚を祝福

十二月九日に決定した郡の結婚改善基準（十二月号既報）は、たちまち未婚の青年男女から力強い支持をうけ、一般の自覚と協力も大きく反影して、各地に続々と新時代の結婚様式による新郎新婦の新しい生活が始められています。このような改善結婚には、知事から記念品が贈られることになつていますが、昨年中には次の新郎新婦に記念品が贈呈され、知事や地方事務所長の心からの祝詞をうけました。

十一月二十一日、鞆淵村峰浦健次（24）上野孝子（23）▼二十五日、鞆淵村堂脇邦雄（25）児玉嘉子（19）▼十二月十三日、王子村蓬莱健（25）平林ヒロ子（22）▼十九日、粉河町山崎松雄（19）額田綾子（19）▼十九日、長田村高弊要（26）金岡百合子（19）▼二十六日、龍門村芋田博美（25）富加見品（19）

新生活懇談会

十二月二十五日、那賀地方事務所で町村新生活運動推進委員会の事務局長会議が開かれ、下林那賀地方事務所長、梅北県企画広報課長らが出席して協議の結果、新春早々から知事を迎えて懇談会をひらくことなど、次の事項を決定しました。

▼知事を迎えてブロック別の懇談会を岩出町、名手町、丸栖村の三カ所で開催する。

▼各町村毎に全住民懇談会を開催する。

▼郡内一七八〇〇世帯を対象とした署名運動を展開する。

町村合併も軌道に

時代の流れに沿つて町村合併の機運も急速に熟しつゝあつて、新春早々から岩出地区の五カ町村、池田、田中両村、貴志地区四カ村、安楽川地区三カ町村の合併がそれぞれ軌道にのり、近く実現の見通しがつきました。

粟部の粉河名手地区では十カ町村と六カ町村の二つの合併案があつて、いろいろ取沙汰されていましたが、最近になつて積極的な話合いが進められつゝあります。

◇県立公園への願い

こうして組織化され、近代化されてきた新興那賀にも、古い縁

郡民の声

県の行政のありかたを、具体的な形において知るために、県民の友の存在価値を一応認めている私である。然し百万県民の幾人かが、果してこれに親しみこれを批判し、県政の刷新と県民の福利について関心をもつているだろうか。内容の如何は今はふれないとして或村役場に月遅れの本誌が、長い間埃にまみれているのを見て慨嘆久しくしたこともある。昨日の新聞は反古紙同然であるまして本誌は月刊紙として、内容にはいくらか時代錯誤の感は止むをえないとしても、少くとも印刷行程の可及的短縮を図ることゝともに、指定発行日には必ず県民の手に届くよう、輸送、配付のルートの整備こそ望ましいものではあるまいか。（光）

×　×　×

投稿規程＝郡民の意見、批判、要望、質疑いずれにても可、住所氏名明記三〇〇字以内、宛先＝地方事務所広報係

ことに流される橋という汚名を永遠に返上することになつています。

この橋の完成とともに、郡の中央を貫いている国道二十四号線を中心に、河北河南に発達する道路網はほとんど改修を終えていますが、中でも県道粉河加太線の未改修区域三千米（粉河町池田村間）が来る四月に全通する予定で、待望の粉河―紀伊駅を結ぶバスが開通し、さらに発展して大きく郡内をめぐる巡環バス運行が計画されています。なお、多年の懸案だつた紀泉鉄道はいよいよ近く起工することになり、完成の暁には泉阪神への距離と時間がいちじるしく短縮されて、文化と経済におよぼす好影響が期待されています。

起をもつ数々の幽玄境がありますが、その代表的な粉河寺、長田観音、根来寺の名刹を中心として、葛城連峰を背景に紀の川を望む一帯を県立公園とする構想あり、本年中には具体的な見通しが開けるものと期待されます。

那賀郡は開発の歴史も古く、早くから県下第一の環境にめぐまれながら、久しく沃境をみなかつたのですが、連続した災害に目覚めて、今こそ伝統を生かした躍進那賀として立ち上り、たくましい歩みを続けることになつたわけです。

温い越年風景

地方事務所では例年通り郡内の生活扶助をうけている五百四十八世帯に、正月の餅代を贈りましたが、町村養老施設の組合立白水園（粉河町）へは十二月二十六日、小野知事が訪れて身寄りのない老人たちに餅代を手渡しましたその日、白水園の佐古音次郎さん（73）は感激の面持で次のように語りました。

寄る辺のない私ども、このように立派な所で楽しく余生を送れるだけでも有難く思っていますのに、いまさら知事さんに手づからお餅をいただいてこんなうれしいことはございません。

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活の建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたいと署名運動が起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知つておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知つている人でも更に深く理解を願い、賛同をえ、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動が展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

郡民の声

投稿規程＝郡民の意見、批判、要望、質疑いずれにても可、住所氏名明記三〇〇字以内、宛先＝地方事務所広報係

災害復旧の陰に咲く花

上名手村字名手下（三五戸）の穴伏川災害復旧工事は、株木建設の請負で昨年七月、二〇人の土工が入つて着工しましたが、現場付近の中山義雄（53）中山重夫（52）両氏は部落の人たちと相談して、それぞれ離れ座敷を宿舎に提供しただけでなく、入浴、洗濯、作業服の補修など家族同様に親身のお世話をしました。土工さん達もこれに感激して、仕事を入念に完成急げとばかり張りきつて働きましたので、工事は契約より三カ月も早く、りつぱに出来上りました。他の工事関係者は約束期限の経過などで焦燥と苛立のかさむことの多い昨今、名手下の美談に深く感動して、これを手本に改善に励んでいます。

山火事をなくしましょう！

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になつています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

月刊わか山

新年号　1月1日発行

23万一家一冊を！

【座談会】衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讀本
◇茶粥とがんの話　岩鶴龍三
◇すきま風　入間はネズミに舐められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天氣予報
◇わか山歌壇

（一部定価　三十円　送料　五円）

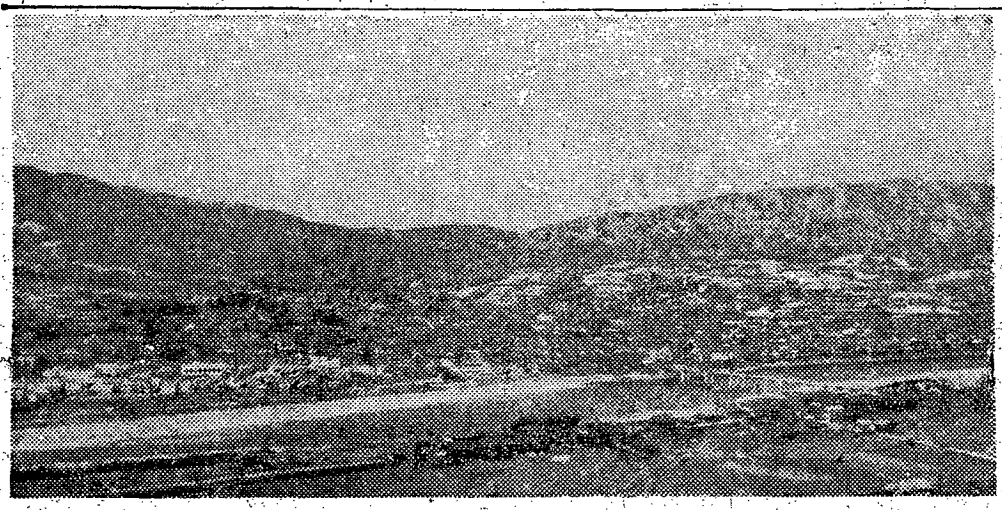
讀者御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五三〇三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

伊都橋本版

冬の健康は先ず　うがいから

躍進を期待されて『橋本市』元日に誕生

輝やく昭和三十年の新春を期して伊都郡にたゞ一つの意義深い新市が誕生しました。橋本町を中心に岸上、山田、紀見、隅田、学文路の六カ町村合併の機運が熟して「橋本市」となつたもので、面積百八平方粁、人口三万二千二百人、その世帯数は七千に及ぶ田園都市として、産業振興への息吹きも高らかにこの一月一日新発足、将来への大いなる躍進を期待されています。



建設の基本方針

総合的計画の下に都市計画をたて、工場誘致並びに国県道の改修により商工業の発展と農林産業の振興を図り、京阪神地方に対する物資の供給源としての機能をたかめます。なお循環バスの運行の実現、上下水道、教育施設の拡充、観光施設の充実によつて文化、厚生の向上を図ろうとしています。

市役所及び出張所

橋本市役所庁舎は昭和三十一年以後に新築する方針ですが、とりあえず旧橋本町役場庁舎をもつて市役所に当てることになつています。なお、各出張所は旧各村の役場庁舎を当て事務を続行します。

教育、文化施設

小、中学校

小学校、中学校は従来通りで、旧町村の通学区域をそのまゝ学区となります。

公民館

旧橋本町に中央公民館を設け各出張所の区域毎に分館が置かれることになり、また図書館は中央公民館に併置され、移動図書館が経営されます。

厚生施設

国保病院は市に移管され総合病院として経営される、又公営住宅については毎年五十戸を目標に建設を図り、公営運動場、総合運動場、淡水浴場等の新設が計画されています。

その他市脇―清水間、下兵庫―下上田間、及び県道山田―九度山線の架橋新設等々を計画し「農産振興五ヶ年計画」を樹立してその実施を図つています。婦人会、青年団及びその他の団体は新しく橋本市協議会を組織し、郷土橋本市発展へ大きく足並をそろえて新発足する。

【写真は誕生した橋本市ーツハタ写真館提供】

精進への決意

伊都地方事務所長　谷沢義弘

昭和三十年を迎え謹んで新春のことほぎを申し上げますと共に新生橋本市の発足を衷心より慶祝いたします。

独立後約三年国土再建の熱意の下にいよいよその曙光を望み得ましたが、考これが目的達成のためには更に大きなそして新しい覚悟をもつて精進して行かねばならないことを考える時、私達は並々ならぬ決意が肝要であると信じます。

経済向上のための緊縮政策は万難を排し実施して行かねばなりません。本県におきましては皆様に「私達の郷土は私達の力で建て直すのだ」という力強い自立心を奮起して戴き、十万郡民の盛り上る大きな力で過去の災害の傷を癒やし、豊かな住みよい郷土を作るため「災害の復旧」「産業の振興」に続いて新生活の建設を提唱しこの運動の主旨に御協力ねがつてまいりました。

時恰も「県民の友」の伊都橋本版が発刊されることになり、皆様との間に新しい強い結びつきが出来たことにより今後本紙を通じて、自治行政のためあらゆる分野にわたつて御相談を申し上げ、円滑な行政運営が出来ますことは誠に同慶に堪えません。更にまた新春を期して伊都郡において本年から新しい市が誕生いたしました。

市の誕生は人々の「和」の結集であります、即ち一目標に向つて努力する形の象徴であり、新しい生活への尊い旗印であるとも考えられます。

この意義深い橋本市の誕生を契機として、新しい決意の下に郷土再建に精進することを共に誓い合い、現実の苦難の道を切り拓いて行きたいと思います。

私は茲に新春を祝し本紙「伊都橋本版」の発刊に対しお喜びを申し上げると共に、皆様の御多幸を祈念いたしまして年頭の辞といたします。

29年産米供出　あと一息です

昭和二十九年産米について苗代期、植付は大体順調に終りました。田植直後から収穫までの間において数度の災害に見舞われ、その上病虫害の異常発生により受けた打撃は相当なものでしたが、供米割当については、町村当局はよくその被害状況を詳細に把握せられ厳正公平に個人別割当をせられたことと、各農家の皆さんが現下の食糧事情についてよく御理解と御協力下さいましたので、本郡の供米の状況は順調に進んでおります。十二月二十日現在の供出成績は次のとおりです。

町村別	割当数量	供米率%
橋本町	二八三石	九九・三
笠田町	七三三石	九五・八
大谷村	四〇一石	九八・九
四郷村	二〇石	六〇・〇
妙寺町	六九三石	九六・六
高野口町	一八六石	一〇〇

年末現在　九五・三パーセント

信太村	二七五石	一〇〇	学文路村	一七四石	一〇〇
応其村一	一三四石	一〇〇	河根村	三石	一〇〇
〃　二	四三石	一〇〇	九度山町	八六石	九七・七
岸上村	五石	一〇〇	見好村	五五四石	七四・三
山田村	三〇四石	一〇〇	天野村	一九八石	九四・七
紀見村	三四〇石	一〇〇	高野町	三石	六六・七
隅田村一	一一五二石	九七・〇	花園村	―	―
〃　二	一八〇石	一〇〇	合計	五七六〇石	九五・三
富貴村	四石	八〇・〇			

保安林の指定計画

戦後の災害はせまくなつた日本の国土を毎年のように襲つては生々しい傷跡を残しています。とりわけ昭和二十八年は六月上旬の台風二号に始まり、西日本の大水害、南近畿の水害台風十三号、と連続して発生、川は溢れ山は崩れ大切な生命と職業を容赦なく奪い去りました。

これ等の災害はもとより異常な天然現象にもよるが多分に人為的な面もあります。

戦時中及び敗戦後の無計画な濫伐過伐は、山林を荒らし水害を発生させる原因の一つとなつています。この災害を防ぐために、濫伐過伐を防ぐと同時に、伐採跡地や無立木地は早く造林するのはいうまでもなく、河川の上流地帯には広く水源涵養林を設けてその河川の水量の調節に役立たせ、又山崩れや土砂の流出の多い山林や、又その恐れのある山林一帯に崩壊流出防備の保安林を設け、これらの保安林の乱伐をさけて順序正しく伐採するようにし、又保安林内の特に荒れている所に治山工事を施して治山治水の恒久対策を講じなければなりません。伊都地方事務所では本年度保安林の指定計画を次のように立てているので災害を防ぐために協力をお願いします。

町村名	保安林の種類	面積
花園	水源涵養林	二〇〇町
〃	砂流出防備林	四二四町
高野	〃	二〇〇町
天野	水源涵養林	四〇町
四郷	土砂流出防備林	一五町
紀見	〃	六町
笠田	〃	四町

楽しく納税できる　納税貯蓄組合

本郡で八カ所設立

納税は、国民の義務であることは、誰もが弁えていることでありますが、さて納める段になると、納め渋ぶる人が可成沢山あります。これには色々の原因があると思われますが、この中で、最も大きな原因は、一度に多額の金を納めることが辛いということでありましよう。

この原因を、なくするために税務課では、納税貯蓄組合を、作つていただくことをお奨めしています。

納税貯蓄組合は、納税のための準備に、日頃から少額の金を日掛けなり、月掛けで貯蓄しておいて、税金の納期が来た時、この貯金で納税するという仕組になつています。

したがつて、一時に多額の金を納税する辛さを感じることなく、楽しんで納税の義務を果していただける訳です。

只今、伊都郡内で、この組合を設立されている所は八カ所ありますが、この組合も良い成績を挙げ、組合員から納税の苦痛を感じることなく、楽しく完納することが出来てうれしいと、喜ばれている立派な組合になつています。

貯蓄するということは、始めは難かしいことのように思われます。然し、やりだせばこのうちに面白味が湧いてくようというものです。まして、納期になつて、一度に多額の金を納税しなければならないことを考えればなおさらでしよう。

また、この組合をお作りになつていない、町や、村は是非お作りになることをお奨めいたします。組合を作つて、この組合を通じて税金を完納した場合は県から補助金が交付されることになつており、その他貯蓄金の利子に対する所得税が免除される等の特典もあります。

作り方については税務課へお問合せ下さい。いつでも御相談に応じますと共に、詳しく御説明いたします。

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活の建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたい署名運動を起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知つておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知つている人でも更に深く理解を願い、賛同をえ、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動を展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

お知らせ

畜産共進会

郡内の畜産振興、奨励をはかるため左記により乳牛、役牛、肥育牛の畜産共進会を開催されますので多数出品せられますようお知らせいたします。

とき　一月二十二日
場所　高野口町家畜市場
主催　伊都郡畜産農業協同組合連合会
後援　伊都地方事務所、伊都郡農業振興協会

衣食住のデモンストレーション大会

新生活運動の一環とする衣、食、住についてのデモンストレーション大会を左記により開催いたしますから、友の会員の多数出席を願います。

月日　一月二十六日
場所　妙寺町小学校講堂
主催　伊都郡生活改善友の会連絡協議会

納税貯蓄組合推進協議会

日時　一月下旬
場所　伊都地方事務所

山火事をなくしましょう！

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になつています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

月刊わか山

新年号　1月1日発行

【座談会】衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讀本
◇茶粥とがんの話　岩鶴龍三
◇すきま風　人間はネズミに盗められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天氣予報
◇わか山歌壇

（一部定価　三十円　送料　五円）

講読御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五二〇三三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

23万一家に必ず一冊を！

有田版

冬の健康は先ず　うがいから

新生活運動いよいよ活潑化

協力の家に門標

部門ごとに實践項目決る

新生活建設運動有田郡推進協議会ならびに専門部会は十二月二十一日午前十時から有田地方事務所会議室で開催、約四十名が参集して次の通り五部門の委員長を選任の上、各部門毎に実践項目は決定しました。

なお、全郡に亘つて新生活運動協力の署名運動を行つています。また協力の御家庭には「新生活建設の家」の門標を掲げて強力にこの運動を推進することになつています。

挙式公共施設で

冠婚葬祭改善部
委員長　大浦善一

1、冠婚について
（イ）結納金は全廃記念品として扇子の交換程度に止める。
（ロ）支度は新調を避け、当座の生活に必要な最少限のものとし、その他は貯金など。
（ハ）衿ぞろえ、衣裳見せおよび土産物のような因習は全廃する。
（ニ）健康診断書を交換する。
（ホ）結婚式場に公民館などの公共施設を利用する。
（ヘ）披露宴は簡素に行い、会費制度にする。
（ト）婚姻届は式後直ちに出すこと。
（チ）子供に対する里方の虚礼（出産祝い、庶賀、節句祝いなど）を全部廃止すること。

2、葬祭について
（イ）式は告別式とし、近隣で執行して簡素厳粛に行うこと。
（ロ）還来の客以外には飲食の接待を廃止する。
（ハ）葬具は共同設置するなどして経費の節減を図る。
（ニ）官公署および団体の供物は廃止する。
（ホ）香奠返しや粗供養は全部廃止する。

小字に補助委員

貯蓄増強推進部
委員長　東谷幸太郎

一、町村にあつては字ごとに新生活貯蓄推進委員を設定、字にあつては小字または隣組ごとに補助委員を設け強力に運動を推進する。
二、委員は貯金の種類、貯蓄推進の具体的方法などについては町村の実情に即した方法を決る
三、貯金は集金制度を原則とするが、次の種類などを参考にして行う。
①つもり貯金②端数貯金③子供銀行や子供組合④青年貯金⑤つり銭貯金⑥日掛貯金の毎日十日貯金⑦三十日貯金⑧一日貯金
四、納税貯蓄組合の結成を奨励する。
五、子供銀行や子供組合の表彰を行う。

各戸に手洗い場

衣食住改善部
委員長　宮芝龜太郎

①衣料の自給と作業衣の改良、そのため繭糸の飼育棉花の栽培
②食生活の新設計を立て粉食の励行菜種の栽培を行う。
③台所を改善し腰掛式の食台の設置、その他通風、採光、カマドの改良実施。
④便所の改良
各戸に手洗い場を設ける。

検便を励行

保健衛生推進部
委員長　堀良太郎

1、予防接種の励行
2、寄生虫駆除と検便励行
3、鼠族昆虫駆除
4、手洗いの励行

地方事務所農地事務所に実践会生る

新生活の実践について有田地方事務所、有田農地事務所の職員は協議会を開いて実践委員を選任すると共につぎの実践項目を決定しました。

冠婚葬祭の改善
①冠婚……婚約が整つた情報を得れば所長と地方事務所実践会と連名で県の提唱する改善結婚の基準にそつて挙式するよう依頼状を出す。
②葬祭……（イ）連名で供花などをしないこと。（ロ）香奠返しの廃止。

貯蓄の励行
①俸給の百分の二積立貯金励行
②百円以上の貯蓄確認。
③職員研修貯金、端数貯金の励行（助け合い箱設備）

衣食住の工夫と改善
事務服調製について研究する。

保健衛生の向上
毎月第三金曜日に庁内大掃除実施の再確認。

助け合いの実践
実践委員は毎月助け合い箱の金を集めて法外援護資金などに充当する。

その他
①職員間の年賀状廃止
②職員家庭の門松廃止
③時間厳守の再確認

愛の運動を展開

助け合い実践部
委員長　成川善太郎

1、人間尊重精神の昂揚
2、愛郷心の発揚
（イ）災害復旧作業の協力
（ロ）道路河川の愛護運動
（ハ）協力組織の育成強化
（ニ）公共施設の愛護運動
3、自立更正の助成
（イ）被保護世帯及び身体障害者（戦傷病者を含む）戦没者遺家族母子家庭などの職業補導と就職のあつせん
（ロ）愛い運動の強力推進

合理的な年間計画

厳寒期に向う柑橘樹の手入れ

新年を迎えて果樹園経営の年間計画を樹て、無駄のない安定生産へ進むよう計画したいものです。柑橘園経営について、つぎのような点を考えてみました。①はたして前年の経営が満足なものだつたでしようか。改善すべき点は本年の計画に入れて改めたいものです。改善を要すると思われる点を挙げますから、それについて夫々の柑橘園に合うよう研究していただきたいと思います。

▽整枝剪定
▽施肥―年間の施肥量、分施方法と樹勢
▽病害防除―撒布時期、濃度撒布
▽薬剤相互の関係
▽収獲販売について
②大きな生産をあげるためには生産費を低くすることが大事です。支出の大半を占める労力や肥料に検討を加えて無駄をはぶくようにしたいものです。労力は重要な経営要素です。しかも自家労力は経営の中心ですから月別作業別に検討して能率化を研究しましよう。肥料については種類分解肥効の関係、含有成分を基礎に年間施用量分施に検討を加えて生産の合理化に努めましよう。

柑橘園の行事
豊作のあとを受けて樹体は弱つていますから厳寒期の保護に努めましよう。
①油乳剤の撒布油分濃度は二―三%とし、DDT乳剤〇・〇五%液を加え、二月下旬までに撒布します。暖かい日が続くようでしたら油分二%とします。
②防寒孤かけはできるだけ急いで行つて下さい。油乳剤を撒布する場合は七―十日後に孤かけします。
③土壌管理―敷草客土の励行
④貯蔵庫の管理―室温の変化を少くするように注意して、腐敗果は初期に処分しよう。

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活の建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたいと署名運動を起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知つておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知つている人でも更に深く理解を願い、賛同をえ、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動を展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

有田版新設に當つて

有田地方事務所長　坂上義和

災害から二度目の新年を迎えました

が、郡内各所に重点的に布石していた復興拠点は今や遺憾なく機能を発揮できる状態となつたので、本年はそれらの活動と相俟つて一大発展をみたいと渇心しています。幸にして郡民各位の絶大な御協力によりまして日々の生活もいろいろの制肘からおいおい解放されつゝある事は御同慶に堪えない次第です。

こうした御挨拶を皆さまになじみの深い県民の友有田版から申し上げることとなり、皆さまの一人一人の御家庭に配布される

ことを思えば親しくお目にかゝつてお話し申し上げているような感じがいたします。

新しい構想によつて建設されつつある新有田の景観は、こゝかしこに既にその片鱗が窺知せられ脱皮した楽土の現出が期待されるのでありますが、これと共に住む私たちの心も改めざるを得ないでありましよう。

県が提唱している新生活の建設運動はこの点で実に時宜に適した処置といわざるを得ないのであつて、再建の困苦と耐乏の生活をつぶさに経験した私達は、自主的に無駄のない生活を希求して旧来の弊風を一掃し、断乎理想の実践に邁進すべきでありましよう。私たち郡の出先機関で年賀状の廃止を申し合せたのもその一端に過ぎません。

面積実に四七六平方㌔、この私たちの郷土が栄えゆく日進月歩の姿を、今月から本版におさめ活きた広報として皆様にまみゆることにしたいと思います。

一家団欒の夕餉の一時、県の施策に私たちの郷土について「県民の友」が話題に上るならば幸甚であります。皆様の弥栄えをお祈りいたします。

各役所一月中の主な行事

地方事務所
総務課（消防訓練）税務課（不動産取得税に関する新修家屋の一斉調査）並に（県実税完納月間）民生課（遺族大会）経済課（二十九年産米政府買入最終期日）林務課（保安林の整備に関する啓蒙運動の徹底）

農地事務所
小作料改定基準調査完了報告。有田川災害耕地復旧工事と務所農地復旧工事の完成。

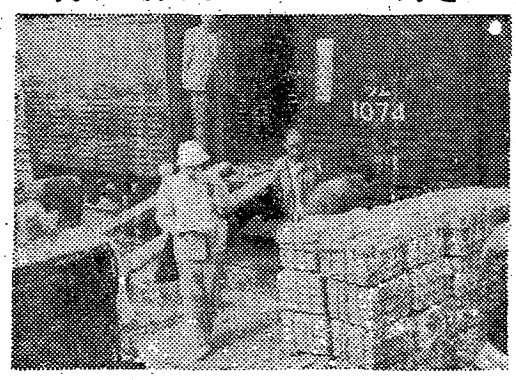
保健所
▼地区衛生組織の確立。▼乳幼児の検診。▼ジフテリヤの発生防止と簡易上水道について。▼モデル火葬場の利用について。

五葉病院
入院手続等の周知徹底について

教育局
▼婦人会、青年団、結婚に関する討論会。▼公民館長教育委員並に各団体長と新生活に関する研究会開催。

作ろう強い共選体制

再び有田みかんの名を



みかんといえば紀州みかん、そのうちでも有田みかんが代表となつていることはいうまでもありませんが、最近、愛媛、広島など他県の進出が目ざましく本郡の今後の販売状況が憂えられています。本郡の販売状況を見ますと、個人、共同選択、商人販売とがあり、比率は四〇%、二〇%、四〇%ですが、このような状態が続くと紀州有田みかんの名は地に落ちて後進地の愛媛、広島みかんに市場を独占されることは明らかです。というのは東京市場に送るみかんの送り状一枚平均は、昭和二十七年の豊年作で小箱換算にして三十三箱という状態であるのに反し愛媛、広島みかんは送り状一枚が一車単位ですから、一車競売するには本郡みかんは五、六〇倍の時間が必要です。その上競売手数料は他府県と同じ八分ですから有田みかんの競売をするのは他府県物より力の入れ方が違つてくるのは当然です。また何人販売で隣り近所より三円或は五円高く販売できても本郡の賃当り販売価格は低下しても増加することはありません。

その上柑橘苗木の増殖が多く近い将来には不作年でも二億万貫以上になると予想されます。一日も早く共同選果体制に切換えて天下に再び名声を発揮できるようにしたいものです。

例えば新興みかんで名高い愛媛県真穴村は肥培管理が徹底しており、生産者の強固な団結によつて共販することはもちろん、選果を厳重に行い、しかも計画的に連続出荷しています。このような方法が市場での信用を益々大きくしています。

本郡においても栽培の改善に努力することも必要ですが、それと共に強固な団結によつて販売の改善に努め輝やかしい業績を残したいものです。【写真は積荷される輸出みかん】

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になつています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

23万一家に必ず一冊を！

月刊わか山

新年号　1月1日発行

【座談会】衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讃本
◇茶粥とがんの話　岩鶴龍三
◇すきま風　人間はネズミに苦められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天気予報
◇わか山歌壇

（一部定価　三十円　送料　五円）

講読御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五一〇三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

日高・御坊版

冬の健康は先ずうがいから

着々進む町村合併

新年早々 川辺町 由良町 が誕生

町村合併促進法が制定されてから県下のトップを切って御坊市が誕生した日高郡では、その後日高町、美浜町、南部川村がそれぞれ合併によって発足し、南部町が岩代村を吸収合併していましたが、新年早々、かねてから協議を続けていた川辺町（矢田村、丹生村、早蘇村が合併）と由良町（由良町、衣奈村、白崎村が合併）がスタートを切りました。

川辺町は七・一八水害で大きな被害を受けましたが、堤防や国鉄日高川鉄橋も完全に復旧しており、土砂や岩石の堆積で至難と思われた農地の復旧も殆んど完了して、現在区画整理を行っています。最近では上水道の新設と公民館や図書館の建設など、文化、厚生面の充実をめざして進んでいます。また観光面では安珍清姫の伝説で名高い道成寺をもち、春の例祭には付近町村はもちろん、遠く東北や九州地方からの参詣客もあつてその数は年々数万を数えるといわれています。

また由良町は、天然の良港として全国的に有名な由良港をもち国鉄紀勢、関西両線で使用される石炭は、全部ここで陸揚げされています。また日本セメント白崎採掘場や大阪窯業衣奈採掘工場があつて、鉱産物だけでも年間五千万円以上の実績を挙げています。新町建設計画の中にも、工場誘致に積極的に乗り出すために、ダム建設埋立地域の拡大などが盛られており、今後の発展に大きな期待が寄せられています。

一方地理的条件などから困難視されていた奥日高の上、中、下山路、龍神の四カ村が、いろいろな悪条件を克服して二月一日に合併する予定で、これが実現すれば県下第一の面積を持つ村が誕生するわけです。

こうして郡内の合併気運は健実に実を結びつつあり、昭和三十年度内に町村合併促進審議会の答申案に近い線で完了する見込みで、県下で一番早くその成果が期待されそうです。

すでに七割は完成

明るい農地復舊の見通し

一昨年の七・一八水害で無惨に壊滅し、一時は復旧不能とまで思われた郡内の農地も、復興意欲にもえた農民や関係機関の努力によって、今では災害当時には想像もできなかつた程の復興振りを示しています。

七・一八水害による農地の被害面積は一、三五二町二反（金額にして一四億円）で、これは御坊市を含めた日高郡の総耕地面積の三割に当ります。しかし、昨年末現在では既に被害面積の七割が復旧しており、なお工事は着々と進められています。ところで問題になるのは、残された三割が寒川、川中、川上、下山路といつた奥地になるわけで被害の程度がとくにひどい上に交通の不便や資金の不足などの悪条件が重なつて遅れていきましたが、三カ年計画で完成する見通しがつき、設計書もでき上りました。

また農地復旧に先立つものといわれる農業用施設（溜池、水路、農道、井せき、護岸など）も、十七億円を超える被害を受けましたが、現在その四割に当る六億九千万円分の復旧が完成しており、既に復旧された農地の耕作には支障がありません。

このようにして、郡内の農地及び農業用施設の復旧は着々進んでいますが、今までに要つた事業費は十二億円で、そのうち県のあつ旋による調達額は十億三千万円、残りは事業主体である市町村の資金によつてまかなわれているわけです。

林さんに紅綬褒章

昨年八月十五日延寿海岸で大波にさらわれた国立療養所勤務菱田氏の長男秀郎君（19）を、折から十二号台風の本土接近で高潮が襲来し、舟も出せない状態の中で一時間余にわたり、死を賭して激浪と闘い、遂にその救助に成功した林友治氏（23）美浜町消防団和田分団員の勇敢な行動は、人々の称讃の的となつていましたが、十二月下旬に内閣官房から紅綬褒章が賜与されの旨連絡がありました。一月八日の出初式に知事から伝達されますが同氏の勇気と栄誉をたたえ心からお喜びしましょう

地區版新設に當って

日高地方事務所長 迫間唯彦

御坊市ならびに日高郡の皆さま朗けましておめでとうございます。と申し上げても、この新聞がお手許に届くのは少々遅れるかと存じますが、この機会に平素の御協力を心から御礼申し上げます。

さて、県行政の内容を県民に知らせして、より良い県政を行つていくために、毎月「県民の友」をお届けしていますが、今年から新たに県民の友に地方版として日高・御坊版を設けることになりました。この目的は、県民に直結した県行政を行うこと、つまり県行政の実状を県民に知らせ広報紙を一層充実させようとするものであり、名実ともに「県民の友」として、県民に親しみをもつて読んでいただきたいと願うためであります。

苦しい県財政の一部をさいて、県行政の実状を県民にお知らせすることは、民主政治のあり方としても、また明るい和歌山県を建設するためにも、その重要さを痛切に感じています。

一昨年の七・一八水害によつて再起不能とまで感じさせられた当郡も、昨年秋には復旧した田畑からの収穫物に舌つづみをうつことができました。これは、知事を中心に県民一人残らず打つて一丸となり、郷土の再建へ奮闘したことが着々その実を結んでいるのでありまして、県行政の一端をお預りしている私としても、たゞ感謝の外ありません。

また、自力再建県民運動の重要な一翼として、県民の生活を安定させて住みよい郷土を作りたいという知事の念願を中心に、昨年九月から全県下にわたつて新生活運動が強力に展開されていますが、あの大災害の中から短時日の間にここまで起ち上つたように、総力を結集していきますならば、新生活の建設に、残された災害復旧に、そしてまた、今後に起り得るあらゆる事態に対処して、必ず明るい豊かな郷土を建設できると確信します。

新しい年を迎えて決意を新にされたとき、県民の友地区版をお送りすることのできる喜びをお伝えして皆さまの御協力をお願いします。

内原中学校で 新生活展示会

改善料理や更生衣服など

昨年十二月十九日、日高町内原中学校で新生活展示会が開催されました。当日は郡内各地の生活改善友の会々員約四百名が集まり、小野知事の講演に続いて早蘇村下早蘇友の会岡原ひろ子さんら各地の友の会員十名が、改善料理や改良衣服について体験発表をした後、それぞれの部面から新生活運動の進め方について全体討議が行われました。

一方展示会には天田、稲原、御坊、由良、内原、和田の六地区から出品された冠婚葬祭用改善料理（一人前五十円程度から五百円程度まで）の実物献立や、農家向きの保存食、びん詰など約二五〇点が出品され、衣料では農村向き改良衣類や古衣更生服など一五〇点が展示されました。会場では高校生や中学生が熱心にメモしている姿も見られ新生活運動と取組む人々の真剣味があふれていました。

また、当日郡内友の会連絡協議会の役員改選が行われ、会長に岡原ひろ子（早蘇村下早蘇友の会）副会長に中西きく（南部友の会）中川花子（由良町畑友の会）の三氏が選ばれました。

年々向上する青年の体位

成人体力健康検査終る

昨年八月一日から十月三十一日までの三カ月間に行われた郡内の昭和二十九年度成人体力健康検査は、受検該当者の自覚と各市町村当局や青年団、婦人会の協力で、郡平均百%、御坊市八三%の好成績をおさめ、終了しました。

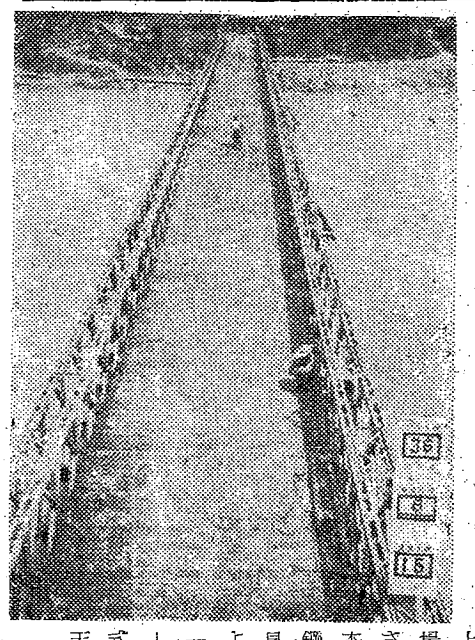
そこで検査の内容について昨年度と比較してみますと、健康検査の結果では標準値以上の者が昨年度九十名に対して本年度は百七十七名、疾病者三百五十名に対して百九十八名と、それぞれ格段の向上を示し、体力検査の結果でも、上級中級に合格した者が昨年より増加しました。

なお、本年度の優秀成人には男子では柳岡俊春（御坊市）垣本成昭（切目川村）左成和男（日高町）の三君、女子では松井陽子さん（丹生村）田島年枝さん（御坊市）岡フジエさん（南部町）が選ばれ、優秀団体としては由良町、印南町教育委員会、御坊市連合青年団の表彰方を知事に推せんしています。

取りはずし自由な組立式の天田仮橋

七・一八水害で流失した天田橋は、紀北と紀南を結ぶ幹線道路和歌山―松坂線（国道四十一号線）の一部であり、交通量が多いので応急復旧の木製仮橋ではすぐ駄目になつて、非常に不便を感じていましたが、本工事完成までの仮橋としてベイリー式KSK組立式構桁が採用されました。この仮橋は米軍が応急仮橋として使つていたもので、取りはずしも自由であり、何度でも繰り返して使用でき、また組立式であるため長さの調節もできるという便利なものです。本工事が完成すれば取りはずされる仮橋の架橋に使う費用も大きいので、たださえ苦しい県財政を一層苦しくしていきますが、このように何度でも使える仮橋は応急対策用としての利用価値百%といえます。

一方天田橋の本工事は、一億三千万円の予算でゲルバートラス式鋼橋が作られていきますが、下部工事は殆んど完成しており、上部の橋体も工場で続々と製作されているので本年五月頃には鋼鉄製の偉容を見せることでしよう。



【写真はベイリー式KSK組立式構桁を使つた天田仮橋】

ふえる改善結婚

昨年九月から新生活運動が提唱され、各町村に新生活推進委員会が設けられて推進の母体となつていますが、特に改善結婚については知事からもさゝやかなお祝品を贈り、長い風習から脱皮して新しくスタートする新郎新婦の勇気をたたえ、将来を祝福することになつています。郡内でもだんだん改善結婚が多くなつていきますが、町村推進委員会を通じて地方事務所へ届けられた改善結婚だけでも、昨年九月二十四日に挙式した早蘇村の津村澄子さん（22）と有田郡有田町の松本博氏（28）を皮切りに、美浜町屋崎和生氏（26）と御坊市岡本淳子さん（23）早蘇村西原馨氏（22）と川中村北畠シヅさん（22）丹生村東良一氏（28）と御坊市辻浦八重子さん（23）らが人々に祝福されながら、それぞれ新家庭を築きました。

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活の建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたいと署名運動が起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知つておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知つている人でも更に深く理解を願い、賛同を求め、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動を展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になつています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

23万一家に必ず一冊を！

月刊わか山 新年号 1月1日発行

【座談会】衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讀本
◇茶粥とがんの話 岩鶴龍三
◇すきま風 人間はネズミに舐められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天氣予報
◇わか山歌壇

（一部定価 三十円 送料 五円）

講読御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五二〇三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

西牟婁・田辺版

冬の健康は先ずうがいから

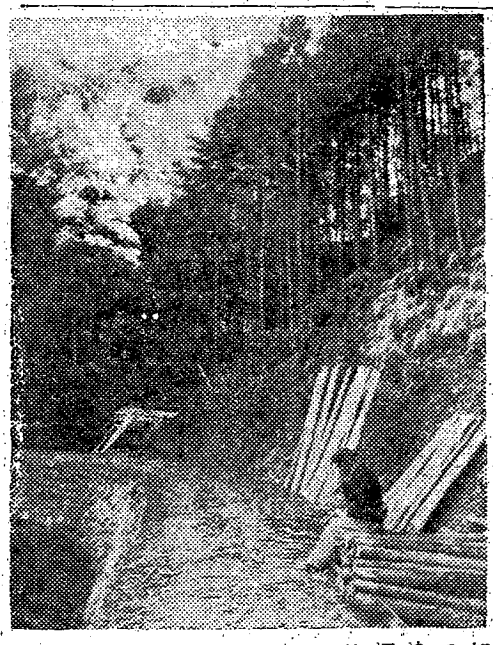
俵からトラックへ

各地に林道續々完成

本郡は昔から川流しによつて木材を運んでいた関係から、林道の開設が遅れていますが、豊かな奥地森林資源の開拓を進めるには、林道の開設が最も要望されますので、県では全力をあげてこの完成を急いでいます。

このほど近野村の林道三路線が竣工して地元民を喜ばせていますが、過日現地を視察した玉置所長は「これは一に地元民の熱意にある」と次のように語りました。

県は災害以来奥地林道の開設を重点的に取りあげていますが特に本郡は県の林道予算の八割も割当てられています。近野村では瀬の川林道・鵜折林道・野中林道の三線が着工されていましたが、地元の方々の熱意と協力で三百本完成の予定が、すでに野中林道は昨年十一月末竣工し、他の二線もこの程完成するというまことにめざましい進捗振りです。



【写真は竣工した鵜折林道】

直接担当した係員の努力はもちろん、地元の方々の非常な熱意によつてこの立派な林道ができ、これほど嬉しいことはありません。

また横矢近野村長は近野村は本郡で最も奥地ですから、ぜひ林道を開設して木材資源を十二分に利用したいものだと、昨年から県や地方事務所にお願いしていましたが、知事さん始め県当局の絶大な御配慮によつて三路線が認められ、誠に有難く感謝の外ありません。この御厚志にこたえるため村民一同工事の完成に協力してきましたが、二十九年年分は地方事務所の方々の大へんな御努力で予定より二カ月半も早く完成できました。

本年度も延長路線の継続施工をお願いし、奥地に眠つている林産資源を開発するとともに、これによつて経済面ばかりでなく、すべての面が発展することと非常にうれしく思つています。

と、その喜びを語りました。

なお、治山および林道事業の追加工事として、つぎの箇所が認められ、一月中には着工する予定です。

二川村小松原砂防堰堤▼上芳養村西郷砂防堰堤▼上秋津村佐間谷砂防堰堤▼三川村向山林道▼近野村瀬之川林道

地方版新設に寄せて

西牟婁地方事務所長　玉置正一

新年おめでとうございます。

本号から西牟婁、田辺版が設けられることになりました。

今日より明日へとよき生活と幸福を願う県民の皆さん一人一人のために、県は大きな努力を払つてきています。

この県の仕事を真に徹底させるために、知つて頂くために、又ほんとうに親しまれる政治を行うために、特にこういう地方版を作つて皆さんのお目にかけるわけです。西牟婁郡、田辺市の皆様もよくこの事情を御洞察されて、この上一層県政に御協力を御願いする次第です。

本県は木の国と昔からいわれ、本郡でも全面積の九割が山林であり、従つて道路の拡張整備は奥地資源の開発にも産業、文化の向上の為にも緊急の仕事であります。

また海岸地域では黒潮の流れと天恵の温暖に恵まれ、早熟蔬菜や花卉園芸を盛にすることが考えられます。

「一年の計は元旦にあり」家庭にあつては今一度日常生活に又しズを入れ、不合理、無意味、無駄を排除して「新生活」に適応せねばなりません。このため、「新生活の建設運動」が積極的に推進されております。冠婚葬祭の改善、貯蓄の励行、食食住の工夫改善、保健衛生の向上、助け合いの実践等に郡、市の皆様と共に今年は真剣に取り組んでゆきたく存じています。

明年の生活がより良く明るく健康で豊かになるよう希念致しまして、年頭「西牟婁・田辺版」発刊の御挨拶とします。

希望に生きる

田辺市長　小森嘉一

私は新年に限らず、いつ如何なるときでも輝く希望に生きることをモットーとしています。

百の計画、構想をうちたてでもその何パーセントが成就したかと問われて、われ人ともに不満足な答しかできないのが世の常でしよう。紀南地方としても、打続く災害の根本的な対策なる治山治水の問題や、奥地資源の開発に関連する交通網の問題、延々五百粁に及ぶ海岸線の問題など、なすべきこと考えるべきことが余りに多く、その問題のうちどれ一つをとり上げても、私共はこれに懸命の努力を捧げてなお足れりとしないのであります。私は郷土百年の大計に心魂を打込むことに生甲斐を覚えます。

私は、田辺市と西牟婁郡とは別のものと考えていません。行政区画を異にしていますが、社会的にも経済的にも一心同体一つの世帯として共に楽しみ、共に生きていかねばならぬと思います。田辺市を含む西牟婁地方の発展と、二十万民衆の福祉を願つて止まない次第であります。

供米完遂へ

農家の熱意高し

二十九年産米の供出について西牟婁郡は二、一一〇石の割当を受けていますが県当局は出先機関と共に農家や関係者の労苦と協力を心から感謝しています本年度の稲作は今く天災との斗争に終始したといえますが、国の食糧需給の逼迫や本県が消費県であることを考慮せられ「県民助け合い」運動の精神をもつて、なお一段の努力を期待いたします。

十二月二十日現在の供米成績はつぎのとおりです（　）内はパーセントを示す。

白浜（二〇〇）中芳養（二〇〇）上芳養（八八）秋津川（一〇〇）上秋津（一〇〇）三栖（九九）長野（九五）栗栖川（七九）二川（一七）近野（一〇〇）富里（一〇〇）大都河（一〇〇）佐本（一〇〇）周参見（一〇五）日置（五六）三舞（九二）東富田（九二）西富田（八九）南富田（一〇一）北富田（九八）生馬（一〇〇）朝来（八三）岩田（九四）市ノ瀬（一〇〇）鮎川（七二）串本（五〇）

郡計　九四％

虚禮廃止など

白浜町の新生活運動

観光地としての白浜町は、戦後虚礼虚飾と必要以上に豪華な結婚式に街の人々の眼をみはらせていました。そして心ある人々の間では「何とかならないものだろうか」という嘆きが高まりつつあつたのです。健康で明るい豊かな郷土こそ、望まれることはいうまでもありません。

このとき、小野知事さんが先頭に立つて「新生活の建設運動」が提唱されたのです。精神的にも、肉体的にも、また経済的にも、無駄や不合理をなくすこの運動こそ、町民の念願していた「何とかならないものか」の叫びとして、白浜町の新生活建設推進委員会が発足し、県が重点的にとりあげている五項目を基礎とした活発な討議が行われ白浜町独自の実践要項が決定されました。この結婚改善基準をみますと

▼健康診断書を交換する

▼結納金を全廃する

▼友度や持参品を制限する

▼衣裳みせや土産物を廃止する

▼結婚式は自宅または公民館、神社仏閣等を利用する

▼披露宴を簡素化する

▼一切の謝礼を廃止する

▼媒姻届の調印は当日、届出は翌日完了する

▼子供への里方の虚礼をやめる

などが定められており、このほか、葬儀や法要の改善基準、年末年始の贈答および門松の自粛などがとりあげられ、強力に実践されています。

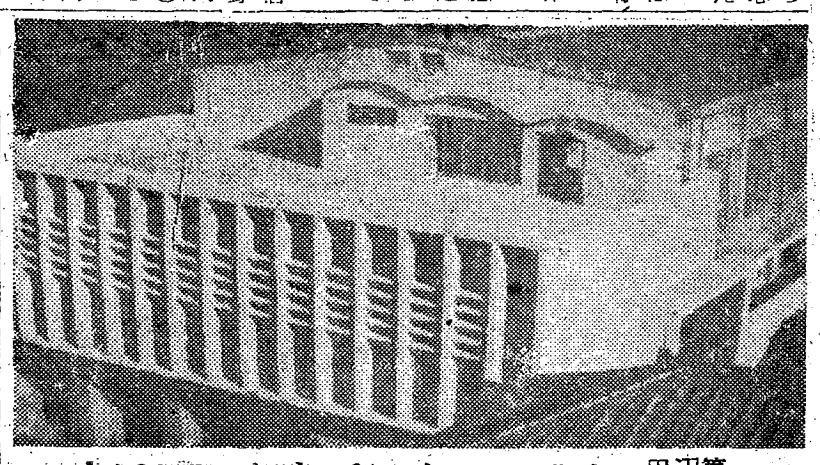
あの川この橋

芳養川口拡張

芳養川口鉄橋付近（田辺市芳養町）の地盤沈下対策として、潮の流入を防ぐための川巾拡大へ旧川巾の二倍となる、幅上七事が、一千万円の県費を投じて十二月九日に竣工しました。これで出水時の田畑の被害や、高潮の危険が解消し、住民に安堵の色が濃くなることは、待されています。

〝虹の橋〟大氏橋

従来の大氏橋は年々の災害に苦しんだ木橋でしたが、こんど恒久的な下路式ワーレントラス式のモダン鉄橋として、県道下山路―田辺線の要衝温川に県費一一六八万円で、十月二十日に完成しました。この橋の延長は五四・五五、巾員四・五米で、今後奥地の山林資源の開発に大きな貢献が期待されています。



立派にできた！ぼくらの講堂

田辺第一小学校

鉄筋コンクリート二階建（一部は三階）の田辺第一小学校講堂が完成、昨年十二月十九日に落成式をあげました。この講堂は工費約三千万円を投じたもので延坪四八八坪、一階は教室と事務室、二階の大講堂は千数百名を収容できます。

月十六日に着工しました。このアパートは三階建、十八戸の鉄筋コンクリートで三月末に完成の予定。入居申込みは地方事務所で取り扱うことになつています。

一月の行事

▼十日から　新年活の建設実践週間はじまる

▼十六日　奥地水害再査定

▼中旬　経営者研究会

▼下旬　漁業態勢準備期間

▼一月中　町村合併推進月間

知事杯は上秋津チームへ

郡青年団角力大会

日曜十九日三栖小学校で西牟婁郡連合青年団の角力大会が行われ、寒風をついて相うつ若人の意気は、集つた数百の観衆にも手に汗を握らせました。出場十二チームのうち団体戦では上秋津チームが優勝して知事杯を獲得しました。成績左のとおり。

【団体】①上秋津（横井、芝、鎌峯）②三栖（中村、鈴木、岩見）③三舞（林、上本、上野）

【個人】①鎌峯節夫（上秋津）②岩見恒夫（三栖）③横井幹次（上秋津）

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活、建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたいと署名運動を起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知つておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知つている人でも更に深く理解り願い、賛同を、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動を展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になつています。
空気が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。

23万一家に必ず一冊を！

月刊わか山

新年号　1月1日発行

【座談会】衣食住の工夫と改善

◇新生活建設

◇化繊の知識

◇新住宅讀本

◇茶粥とがんの話　岩鐘龍三

◇すきま風　人間はネズミに悩められた

◇生活の工夫

◇燃料の上手な使い方

◇新しい農業

◇天氣予報

◇わか山歌壇

（一部定価　三十円　送料　五円）

讀売御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五二〇三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

東牟婁・新宮版

冬の健康は
先ず
うがいから

川丈道路の建設進む

難工事中の難工事

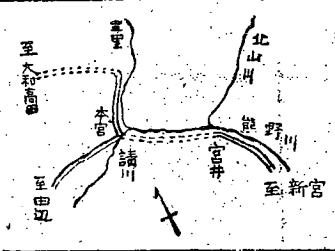
請川↓
椋呂間

新宮市を基点とし、熊野川に添つて奈良に通ずる二級国道新宮大和高田線（一六八号）は、九軍村椋呂（むくろ）までの約三十粁が開通して以来そのままになつていましたが、国道として工事の完成が急いでいます。

国道一六八号線は、新宮、宮井、請川、三里を経て奈良県と結ぶ道です。この一六八号線のうち本県の現状は、新宮―椋呂間の開通道路約三〇粁（約八里）椋呂―請川間約六粁、請川―三里間約七粁、三里から県境まで約二粁、延長約四・五粁（一一里）で、道路の開通していないのが椋呂―清川間約六粁と三里から県境までの二粁です。現在開通を急いでいる請川―椋呂間は、難中の難として前工事の際に取り残された箇所だけに、熊野川の絶壁がそそりたち、道路とは思いもよらないような箇所ですが、新宮市と清川など四カ村とを結ぶ目下唯一の交通機関である、プロペラ船も大雨ごとにとまり、昔さながらの川止め風景をかもし出しています。

特に、昭和二十八年の大水害で一段とこの開通が要望されるに至つた重要な道路です。

本年三月末までには、六米巾員で延長一二五〇米を完成する予定で工事が進められていますが清川―椋呂間完成までは、総工事費が四億二千余万円要るものと推定されています。この難工事六粁が完成すれば、奥地眠る資源が開発され、雨のたびごとに陸の孤島化する心配もなくなり、産業発展に大きく期待できるでしょう。



地方版新設に際して

東牟婁地方事務所長　山口泰秀

新宮市ならびに東牟婁郡の皆さん、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

一昨年の災害について昨年も六月水害と十四号台風の襲来により、被害の上に被害が累加され、罹災地の方々には心から御同情を申し上げると同時に、復旧には一層の努力を致す決意を新たにしていますさて、県の行政を県民の皆さんにもれなく知つていただくということは、民主的に県行政を運営するのに最も必要なことであります。この意味において「県民の友」は使命を果してきたのでありますが、一層皆さんに親しまれるように、今回地方版として、東牟婁・新宮版を設けることになりました。

産業経済界の状況は、デフレ政策による不況の波がますます深刻の度を加え、非常な苦難が続くことと存じますが「自分達の郷土は自分達の力で建て直す」という自立心が何よりも必要でありまして、今日ほど強く要請される時はないと思います。県が昨年四月に自力再建県民運動を展開して、災害復旧、産業振興、さらに新年活力建設運動を提唱しまして、皆さんの御協力を送りすることによつて、住みよい和歌山県建設に一段と御協力を賜りたいと存じます。

◇

また、現在の町村規模におきまして合併の必然性はすでに認識されていることと存じますが、本年こそは合併の実現へ御協力いただきたいと存じます。新しい年を迎えて、新らしい意欲にもえておられるとき、所懐を申し述べるとともに、県民の友地方版をお願いしましたが、本年も一層強力に推進していただきたいと存じます。

◇

古座川地區で具体化

本郡にも合併促進の機運

一昨年の九月に町村合併が早く進むよう、いろいろな利点をきめた町村合併促進法ができてから一年余りになります。この間全国で二千に近い町村が既にその姿を消し、更にこの四月までには大半の町村がなくなることでしょう。和歌山県下でも、紀北、特に日高郡では既に相当数の合併がなされ、新市町村が堅実は歩みを続けています。

本郡でも、地区ごとに会合をかさね、三港野地区、那智勝浦地区、古座川地区は具体的に話合が進められ、且下地理的にあるいは町村間の産業形態の相違などの問題が検討されています。

このように全国の町村が、住民百年の幸福を願つて真けんに合併問題を討議し研究していることは、ただ合併促進法による利益だけによるものでなく、明治年代を顧みて、今日の社会の発達による諸制度の改革が必然であるからです。

しかしながら合併についての具体的な話合になりますと、矢張り住みなれた土地に対する愛着心のために、なかなかまとまらないものです。合併は個人の結婚と同様に慎重を期する必要はありますが、町村全体としてもある程度の決断力と大衆的な見地がなくては到底実現は至難です。現在の町村の姿を静かに眺め、町村自治行政の本質を深く考え行政効果が向上する合理的な合併をして、楽しい新町村の建設に努力すべきです。

明るい西向町に

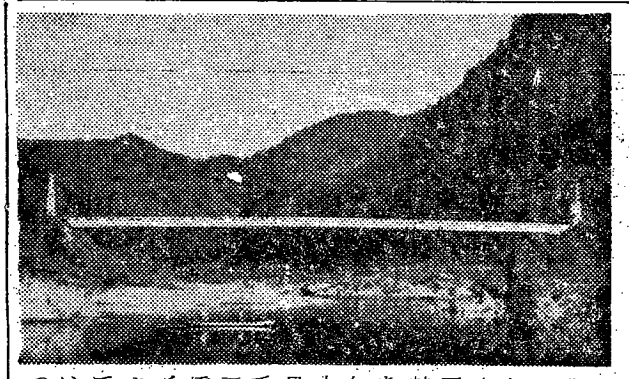
実を結んだ青年の努力

西向町住吉子供クラブは、子供達の幸福を念願して、五年前から血のにじむような努力を重ねてきました。

住吉区は、戸数二百五十戸、（九百人）の経済的に低位な地区で、不就学児童が四十名を数え子守、家事、日傭労働など文化の光をさえぎられた子供達は、日夜あくせくとした生活を続け雨が降ると「バイ」にたわむれ青年はヒロポンにむしばまれる状態にありました。

これではいけないと、同町のK青年は子供ホームに手をつけ、今では子供クラブの会員が百名を越えており、古座高校の職員及び生徒、援助を得て、お互いが問題を考え、解決の方法をあみ出し、新しい社会建設へたゆまぬ努力を続けています。その結果、不就学児童は絶滅し、ヒロポンも青年のたゆまぬ努力で追放して、明るい話題を投げています。

渡し舟のいらない村に



東牟婁の飛地、陸の孤島といわれている北山村に、三重県熊野市と結ぶ市島三・五粁、長さ一三〇粁の大沼大橋が十二月四日にできました。

昭和二十六年に一度橋を作りましたが、昭和二十八年九月の豪雨のため流され村民は渡し舟を利用していました。しかし二十九年十二月四日に、工事費一千六百三十八万五千円で、前の橋より二粁も高く立派な橋ができました。これで再び渡し舟のいらない村となつたわけです。

県下で始めての緬羊種付所完成

緬羊飼育の盛んな西向町では、緬羊の種付が、牛や豚のように発情を簡単に見つけることができないために、いろいろと研究されていましたが、今度県費補助金の交付をうけて建坪十坪の共同種付所を完成し、優秀なコリデール種の種緬羊を飼育しています。

これができたおかげで発情した牝をこの種緬羊がみつけてくれますので、種付時期のこの頃、飼育者によろこばれています。また、今後は郡内の緬羊増殖に大きく貢献をするものと、期待されています。

署名運動に御協力を！

たゞいま「新生活の建設」運動に全県民の皆さんの参加を願いたいと署名運動を起しています。

つまり、全県運動として大きくとりあげられている新生活運動の考えかた、やりかた、目標などは新聞、ラジオ、人の話などで知つておられる人も多いと思いますし、すでに実践に移している地域も沢山あります。しかしまだ知らない人や知つている人でも更に深く理解を願い、賛同ばえ、そして一人残らずこの運動に参加願いたいと署名運動を展開しているのです。是非この署名運動に御協力をお願いいたします。

納税貯蓄組合結成

一度に税金を納めるのは、大変だから毎月または毎日少しづつ税金のために貯金をしておけば納期になつてもあわてず、納められると、郡内に二二の組合が結成され、組合員三三〇〇人に成果あげております。

この組合が結成すると、いろいろと特典があります。結成についてくわしいことは地方事務所税務課へお問合せ下さい。

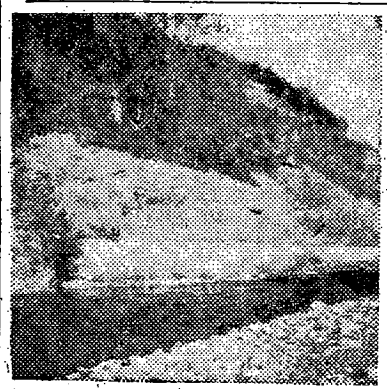
供米進む

今年の供米割当特に当地方事務所管内は、二百十石に決定し、それぞれ割当を完了し、十二月二十五日現在での供出は、七十八％で昨年同期からみると、あまり良い成績ではなく低調ですが、これは、作柄が意外であつたために処分計画の作成が、おくれたことと、品質の問題で検査不合格になつたりしまして、再三の精選を要した理由と考えられます。

しかし、本紙が農村の皆さん方の家に届けられる頃は、供出が完了されていることでしようが一日も早く完了されますよう事務所では望んでいます。

県費補助で竣工

三里村の災害林地保全事業



三里村伏拝で、総経費五十八万参千円、うち二十九円一千五百円の県費補助金の交付をうけて昭和二十八年十二月に災害林地保全工事を完成しました。

これは、度重なる災害によつて林野が年々大きな被害をうけていますが、大被害をうけたところは、国庫補助金の対象となつて工事が進められています。しかし比較的小さい災害は、国庫補助金による保全事業がありませんので、県では小規模な災害林地といえども、そのまま放置することは、一段と災害を増大させる影響が大きいとして、県独自の県費補助金を交付し、最少限に災害林地の拡大を防止するための災害林地保全対策です。

その後の災害復旊

七・一八水害並びに十三号台風により郡内の耕地の約一％（二〇〇町歩）が壊滅しましたが、関係者の熱意により、トラクター、ブルドーザーなどの機動力を利用できない山間僻地の悪条件を克服して人力で復旧され順調に進んでいます。

現在までに復旧されている個処は、敷屋村五四町、三輩野村九一町は昨年までに復旧完了、ほかに三里村などは、区画整理をして整然とした農地に復旧されています。その他では農地など七〇％以上復旧されています。

23万一家に必ず一冊を！

月刊わか山

新年号　1月1日発行

【座談会】衣食住の工夫と改善
◇新生活建設
◇化繊の知識
◇新住宅讀本
◇茶粥とがんの話　岩鶴龍三
◇すきま風　人間はネズミに舐められた
◇生活の工夫
◇燃料の上手な使い方
◇新しい農業
◇天氣予報
◇わか山歌壇

（一部定価　三十円　送料　五円）

講読御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五三〇三番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。

山火事をなくしましょう！

煙草のすいがらや焚火の不始末から昨年中に62,000石の木材が灰になつています。
空氣が乾燥する1月、2月は特に火元に注意しましょう。